

文化に関する市民意識調査 結果

令和4年8月

尼 崎 市

目次

1 調査の概要	1
(1) 概要	1
(2) 調査対象・回収数	1
(3) 調査方法・調査期間	1
(4) 調査内容	1
2 フェイスシート	2
(1) 年齢	2
(2) 一番下の子どもの年齢	2
(3) 住んでいる地域	3
(4) 職業等	3
3 尼崎の文化と、文化・芸術に触れること	4
(1) 「文化」と聞いて、どのようなものが含まれか	4
(2) 尼崎の文化の特徴だと思うもの	5
(3) 自慢したい尼崎の文化の特徴	10
(4) 文化に触れることの良い影響	11
4 文化・芸術体験や活動状況	12
(1) 過去1年間の文化・芸術の鑑賞・体験、創作活動・グループ活動・習い事の有無	12
(2) 文化・芸術に関する情報の入手方法	12
(3) 過去1年間の文化・芸術体験	13
(4) 過去1年間の創作活動・グループ活動・習い事・ボランティア活動	15
(5) 鑑賞・体験、活動しなかった理由	16
(6) 鑑賞・体験、活動のための改善希望	17
(7) 新型コロナウイルス感染症の影響による直接鑑賞の機会の増減	18
(8) 新型コロナウイルス感染症の影響によるインターネット等の鑑賞の機会の増減	18
(9) 新型コロナウイルス感染症の影響についてどう感じているか(自由記入)	19
5 尼崎市の文化振興	20
(1) 市内文化施設の利用環境への満足度	20
(2) 利用可能な範囲の文化施設の利用環境への満足度	21
(3) 子どもが文化・芸術に親しむために重要なこと	22
(4) 子どもが文化・芸術に触れる機会が十分か	23
(5) 3年間の尼崎市総合文化センターの来場・利用経験	24
(6) 尼崎市総合文化センターの満足度	25
(7) 尼崎市総合文化センターに来場・利用したことがない理由	26
(8) 市・文化振興財団の事業の認知度	27
(9) 市・文化振興財団の事業の興味・意義	28
(10) 今後、尼崎市が力を入れるべきこと	29
6 自由記述	30

1 調査の概要

(1) 概要

この調査は尼崎市民の文化に関する意識や活動等を把握し、「尼崎市文化ビジョン」の改定及び今度の施策展開の基礎資料とすることを目的として実施する。

(2) 調査対象・回収数

15歳以上の市民 3,000 人を無作為抽出

回収数 839 票(回収率 28.0%)

(3) 調査方法・調査期間

郵送配布・郵送回収(送付物:依頼文、アンケート調査票、返信用封筒)

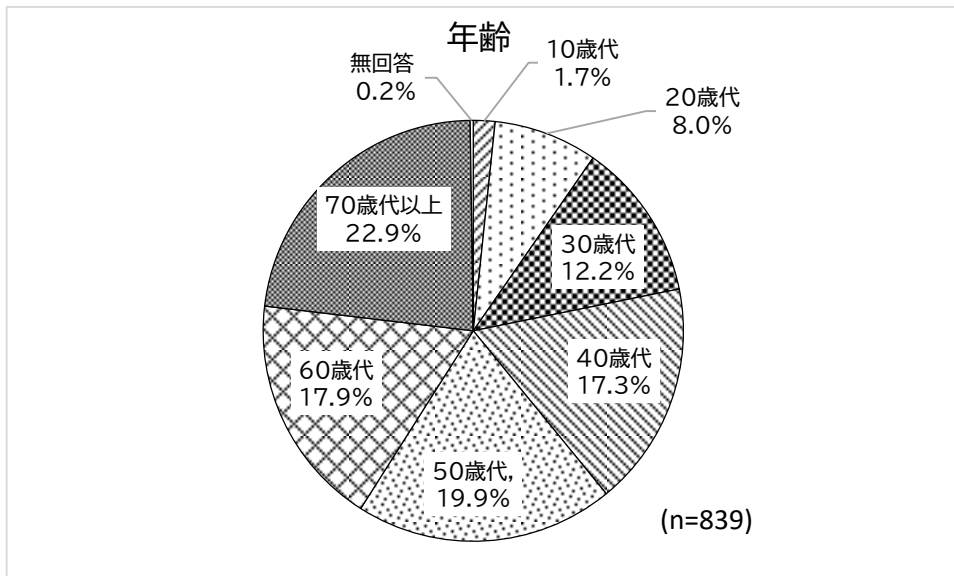
調査期間:令和4年6月14日(火)~7月1日(金) ※7月20日回収分まで集計

(4) 調査内容

- ・フェイスシート
- ・尼崎の文化と、文化・芸術に触れること
- ・文化・芸術体験や活動状況
- ・尼崎市の文化振興
- ・自由記入

2 フェイスシート

(1) 年齢

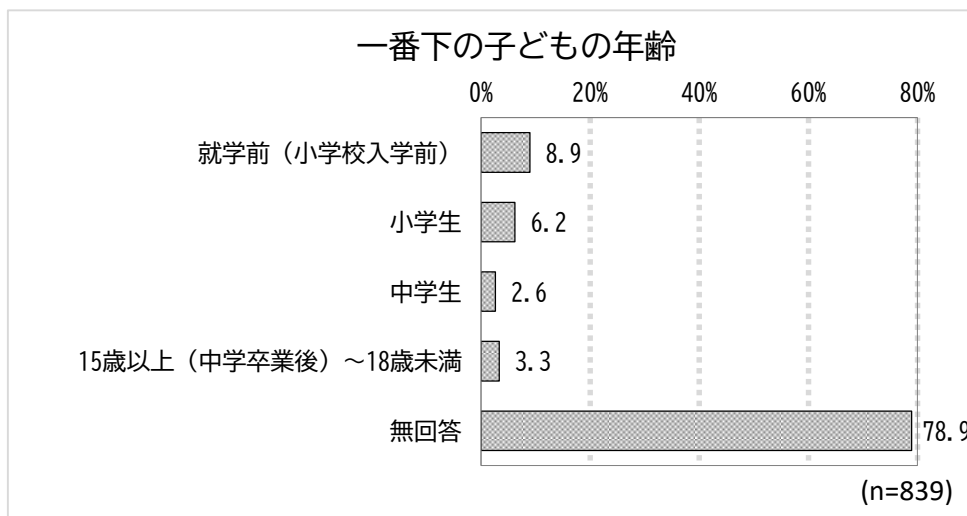


参考:住民基本台帳人口 令和4年3月末日

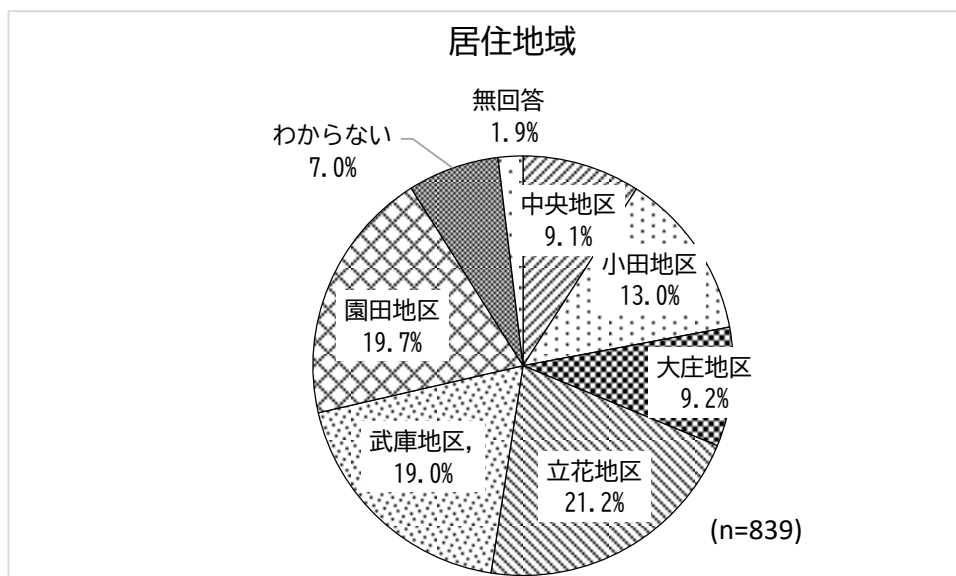
	人口	人口比
10歳未満	34,219	7.5%
10歳代	36,739	8.0%
20歳代	49,387	10.8%
30歳代	54,048	11.8%
40歳代	66,394	14.5%
50歳代	66,772	14.5%
60歳代	49,360	10.7%
70歳代以上	102,342	22.3%
計	459,261	-

(2) 一番下の子どもの年齢

(18歳未満の同居の子どもがいる場合の、一番下の子どもの年齢)



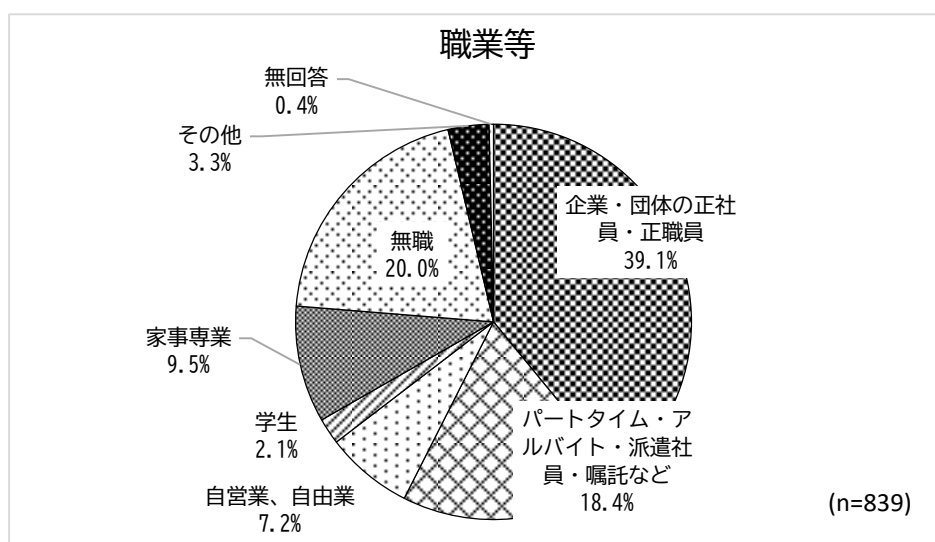
(3) 住んでいる地域



参考:住民基本台帳人口 令和4年3月末日

	人口	人口比
中央	52,346	11.4%
小田	74,207	16.2%
大庄	52,003	11.3%
立花	107,473	23.4%
武庫	75,766	16.5%
園田	97,466	21.2%
計	459,261	—

(4) 職業等

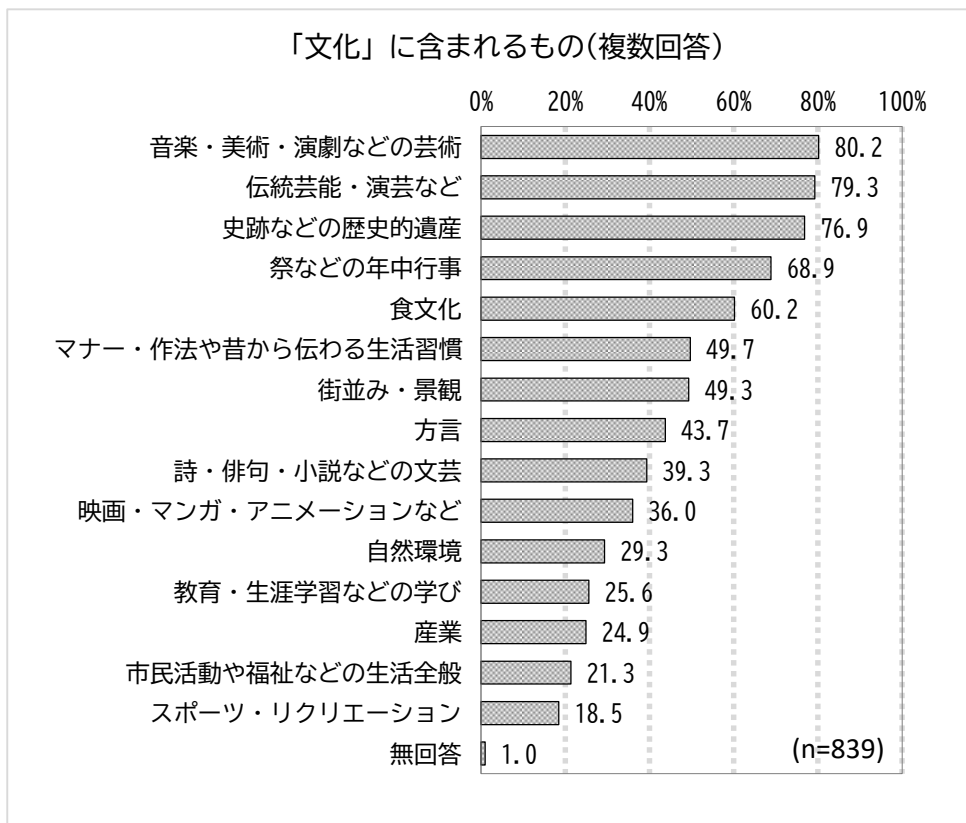


3 尼崎の文化と、文化・芸術に触れること

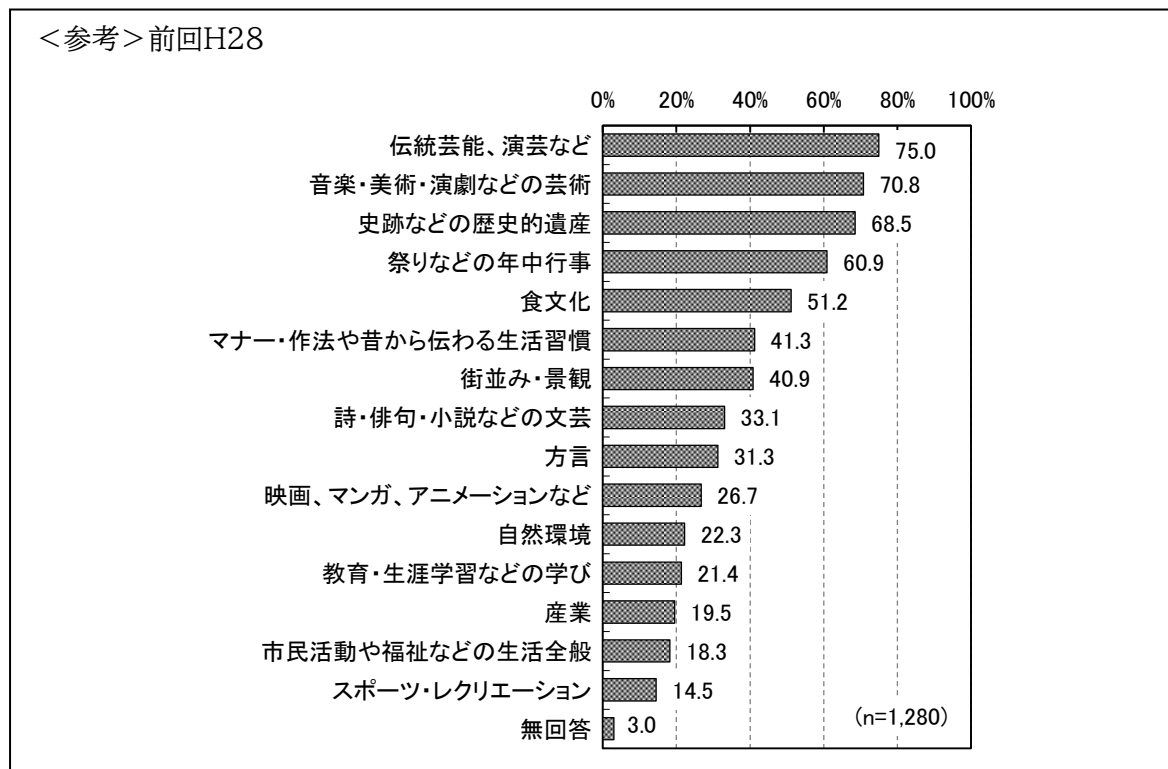
(1) 「文化」と聞いて、どのようなものが含まれか

○文化と考える範囲は、概ね前回同様となっている。

○前回2番目に回答が多かった「音楽・美術・演劇などの芸術」が今回は最も回答が多い。



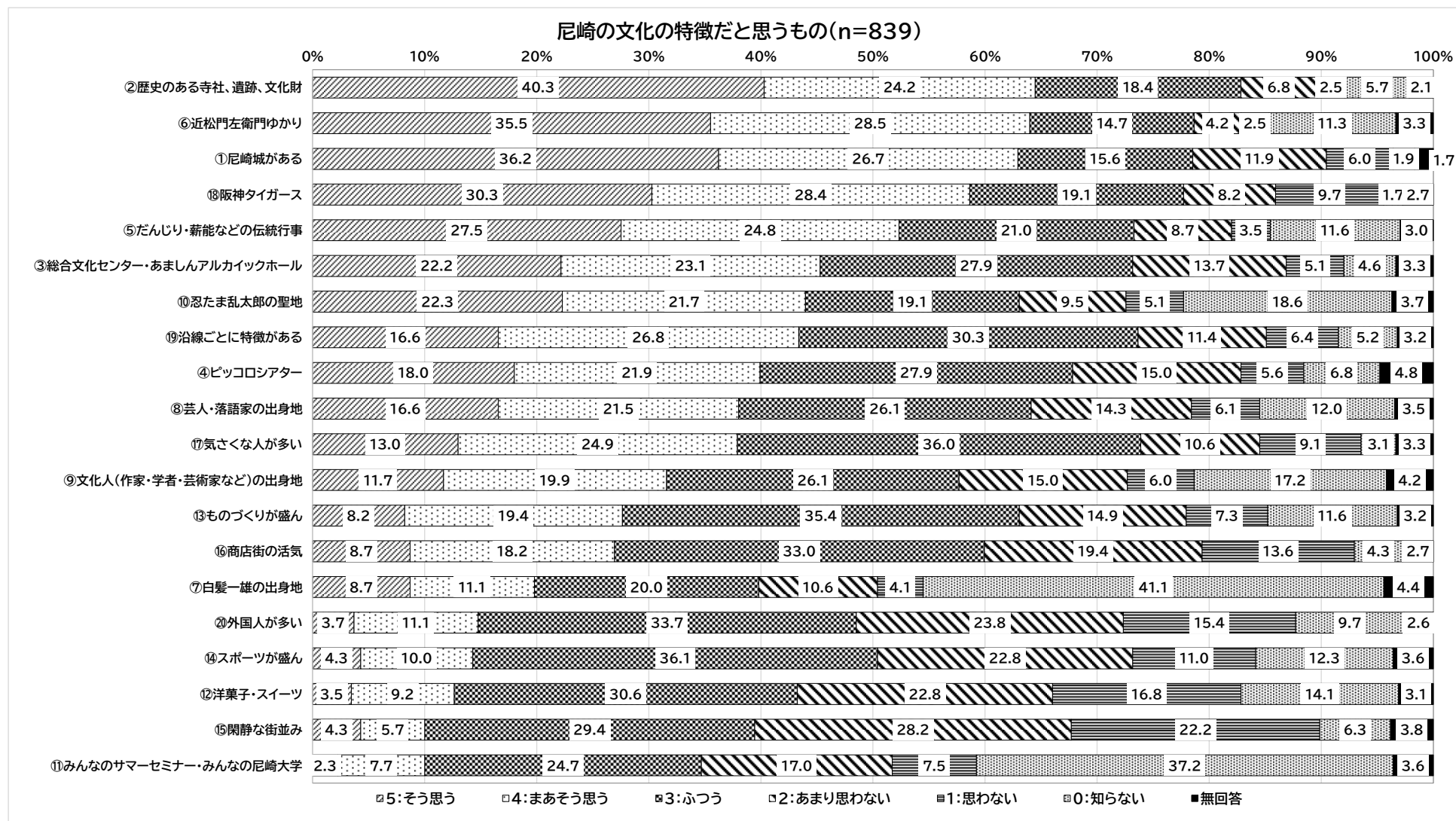
<参考> 前回H28



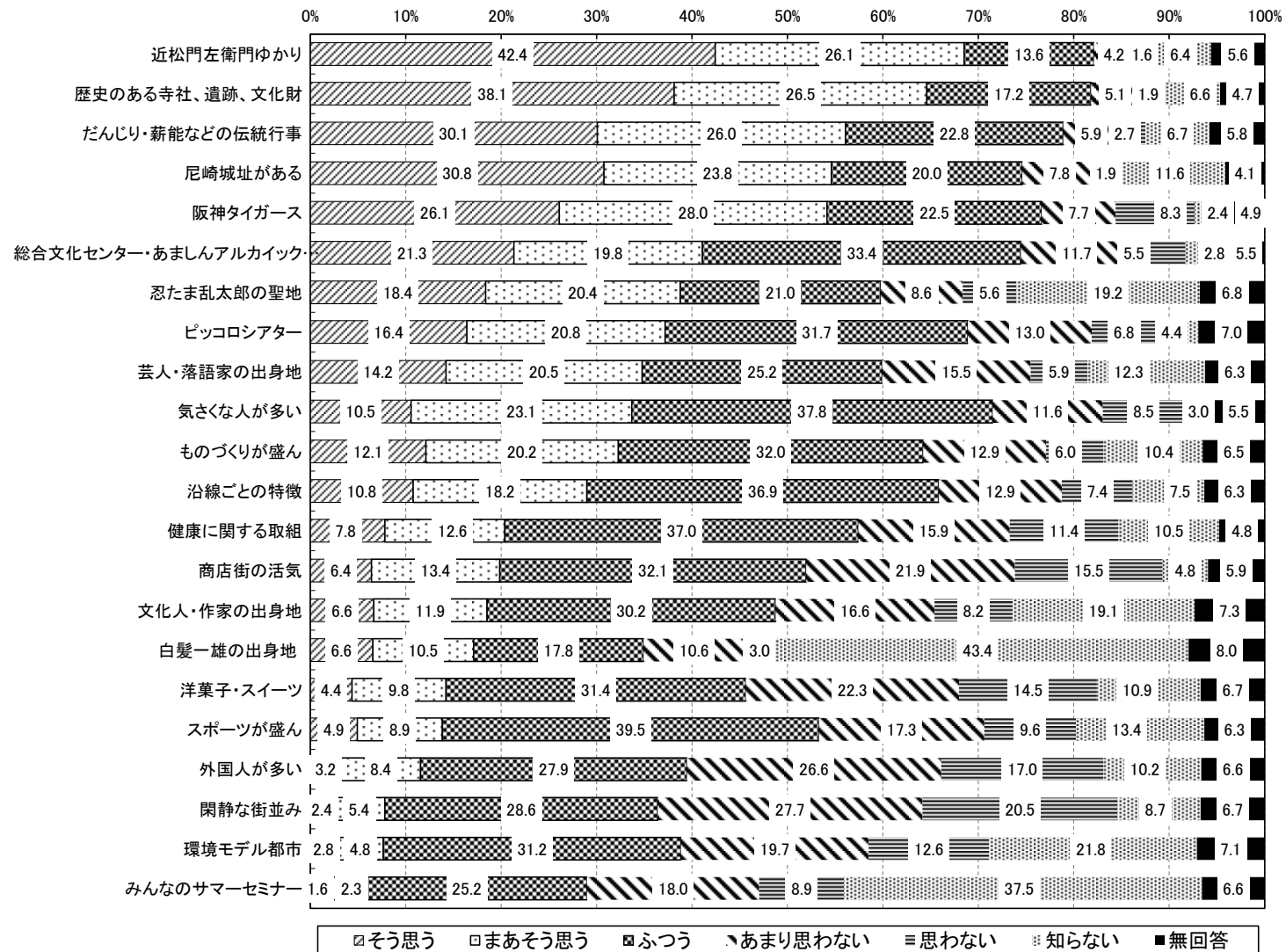
(2) 尼崎の文化の特徴だと思うもの

○「そう思う」「まあそう思う」を合わせた回答順でみると、前回と比較して若干の変動がある。「だんじり・薪能などの伝統行事」が前回3番目から5番目になっている。

※前回と項目は一部異なる



<参考> 前回H28



<年代別>「そう思う」「まあそう思う」を合わせた上位5位

②歴史のある寺社、遺跡、文化財

→いずれの年代でも5位以内。40代以上で2位以内。

⑥近松門左衛門ゆかり

※昭和 61(1986)年の市政 70 周年を契機に「近松」を文化振興のシンボルに

→40代以上で2位以内。10～20代で8位、30代で6位。

①尼崎城がある

※平成 31(2019)年に尼崎城天守が一般公開

→10～20代で1位。30代で2位。40代以上で3位。

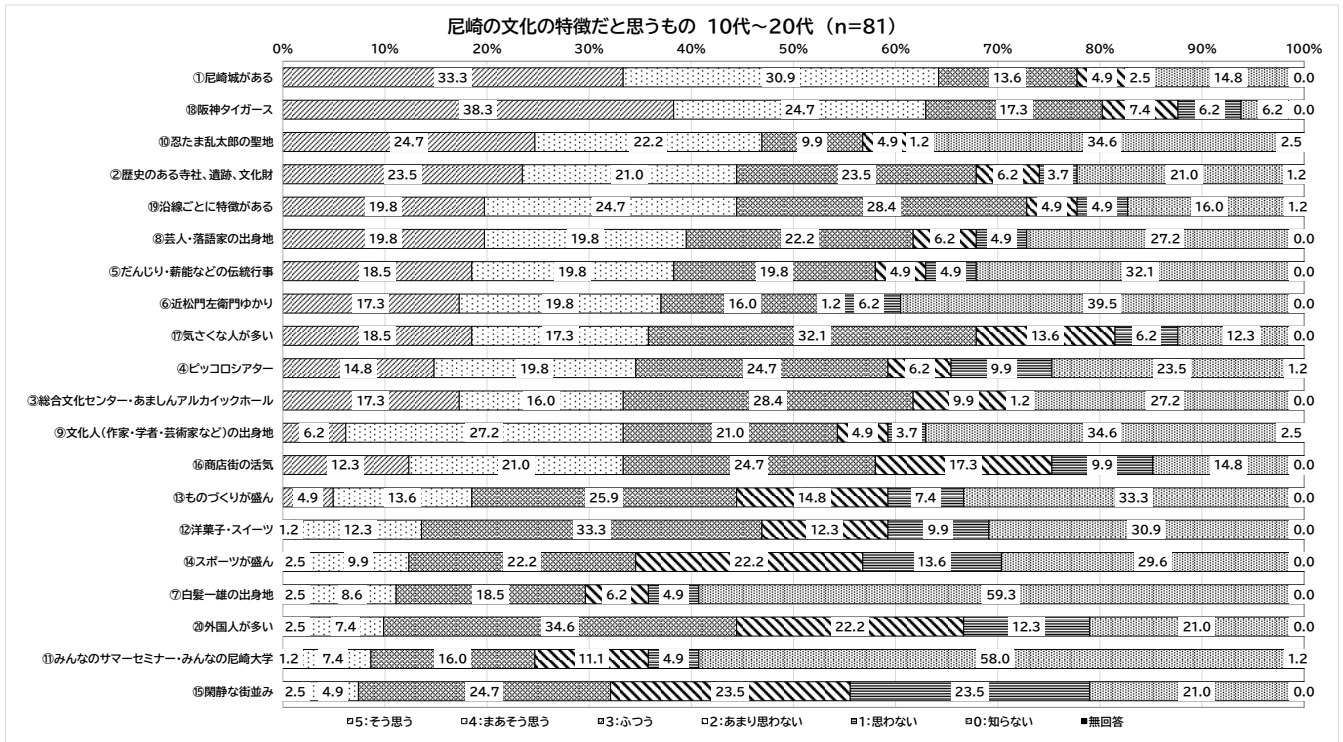
⑱阪神タイガース(商店街でのマジック点灯、令和 7(2025)年に二軍本拠地のオープン目指す)

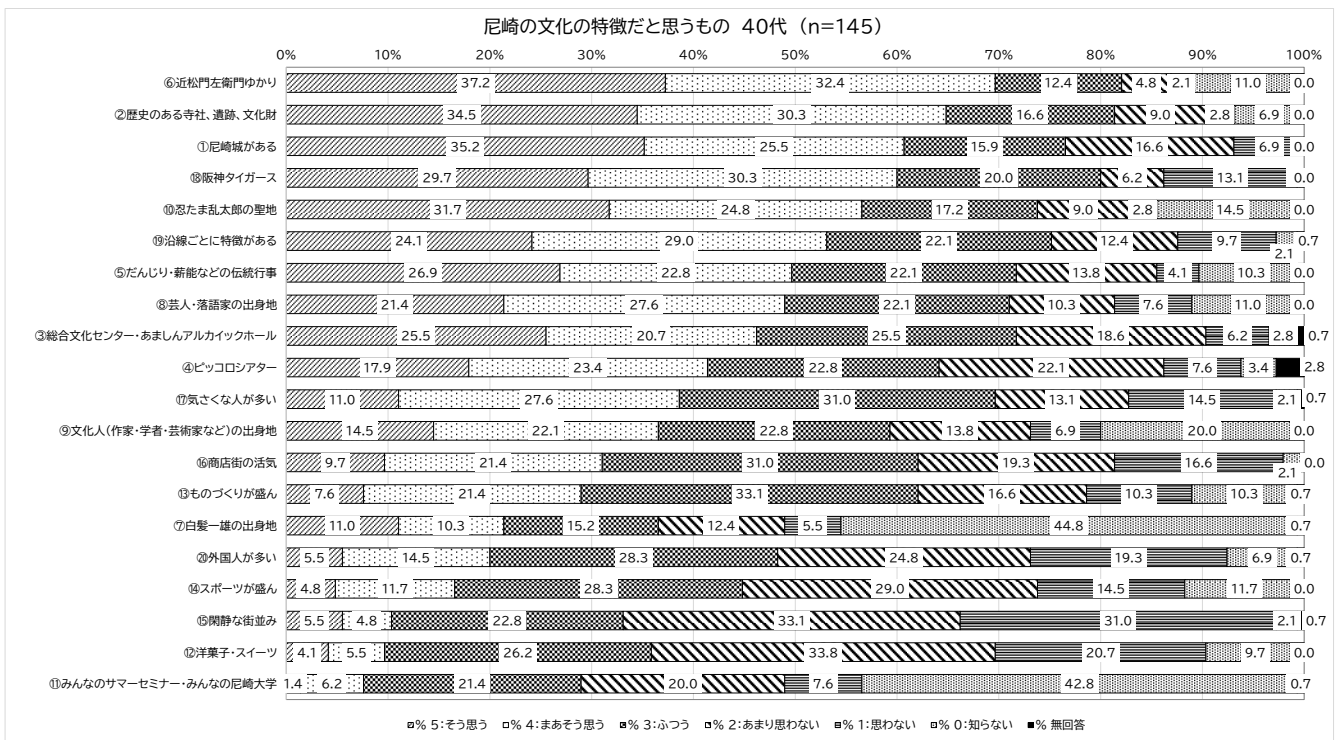
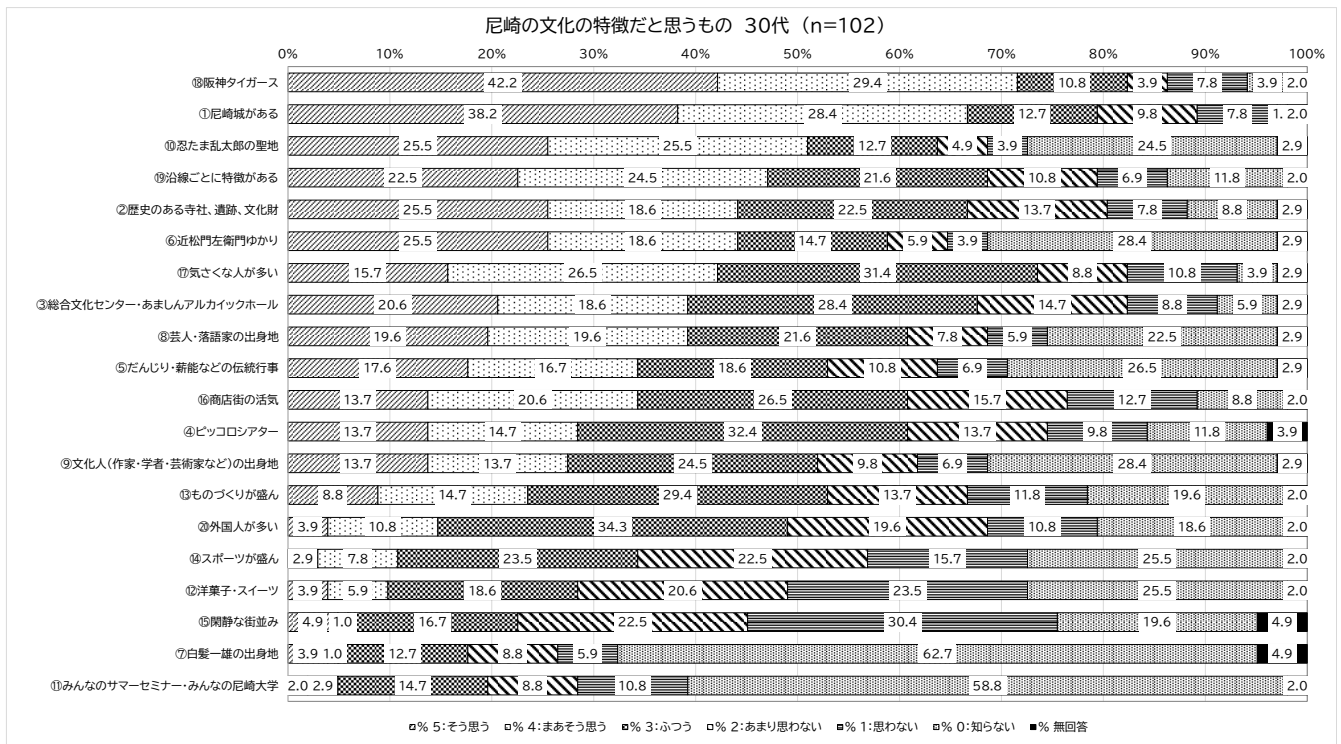
→10代～20代・30代で2位以内。40代以上で4～5位。

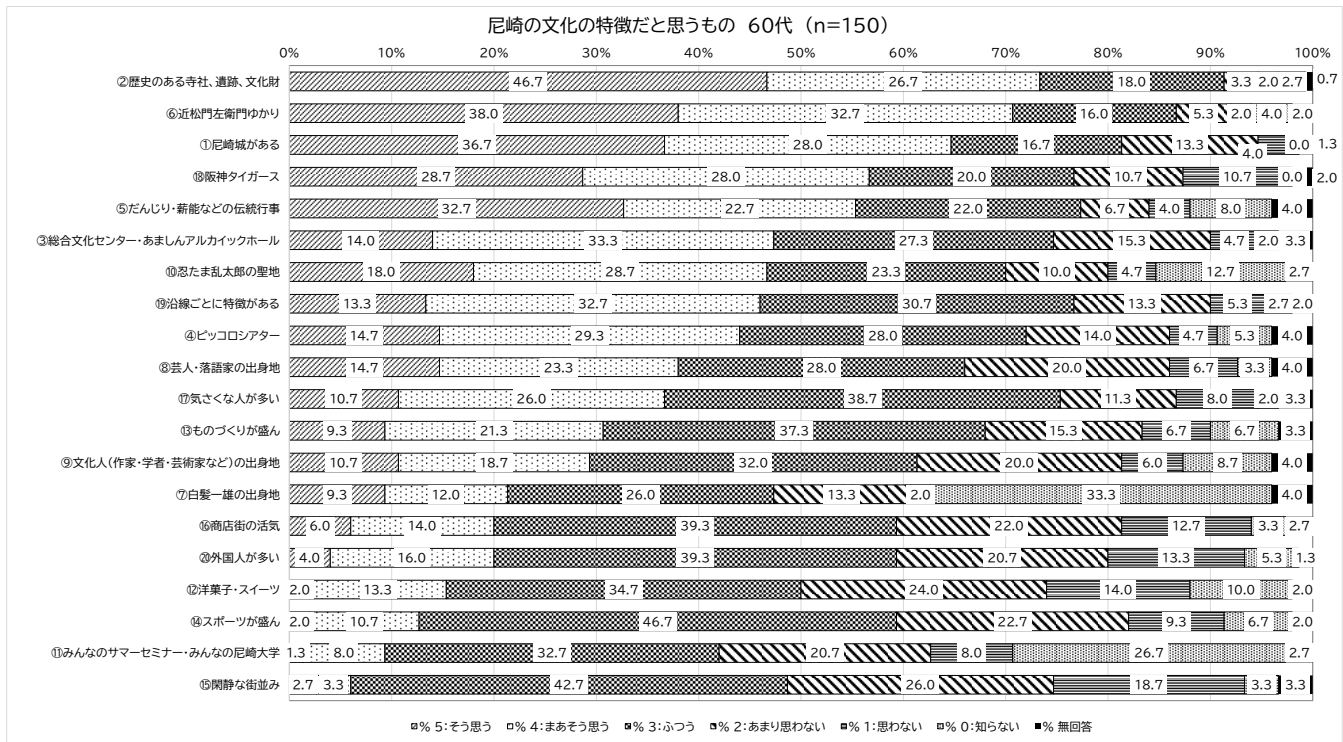
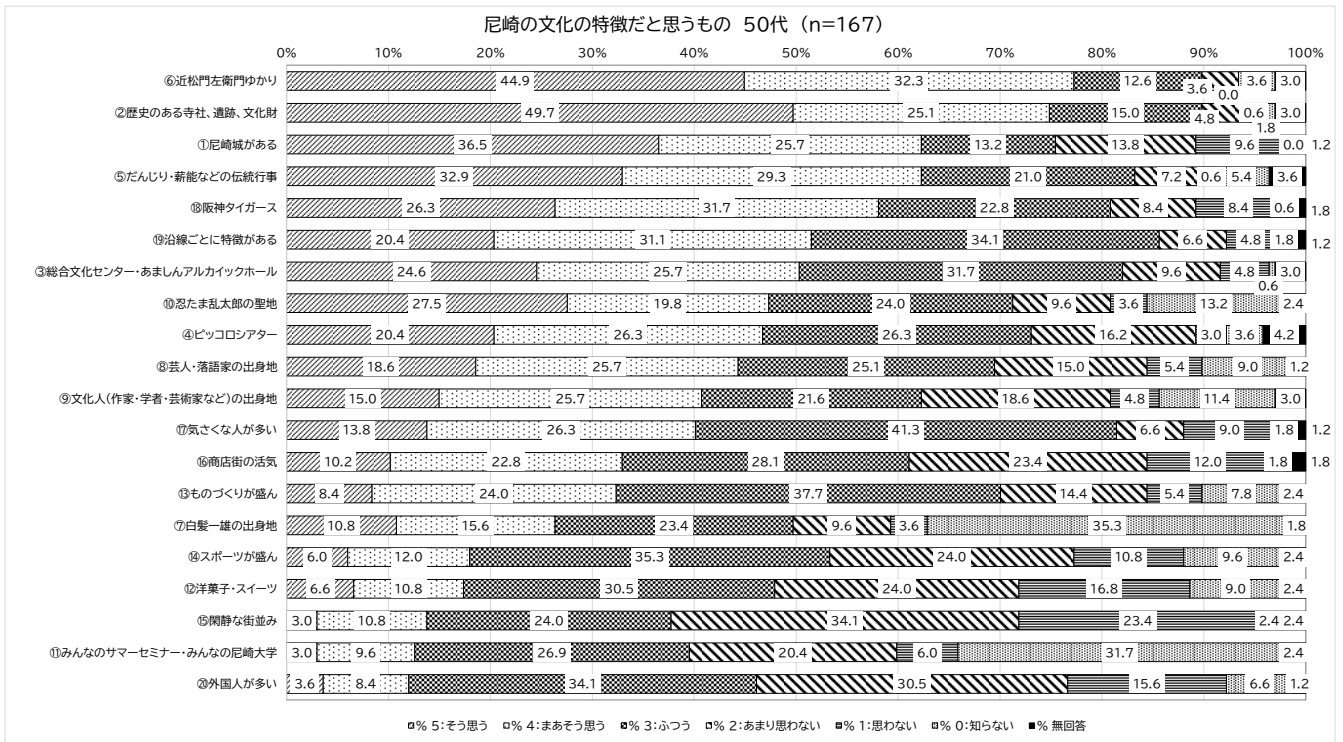
⑤だんじり・薪能などの伝統行事

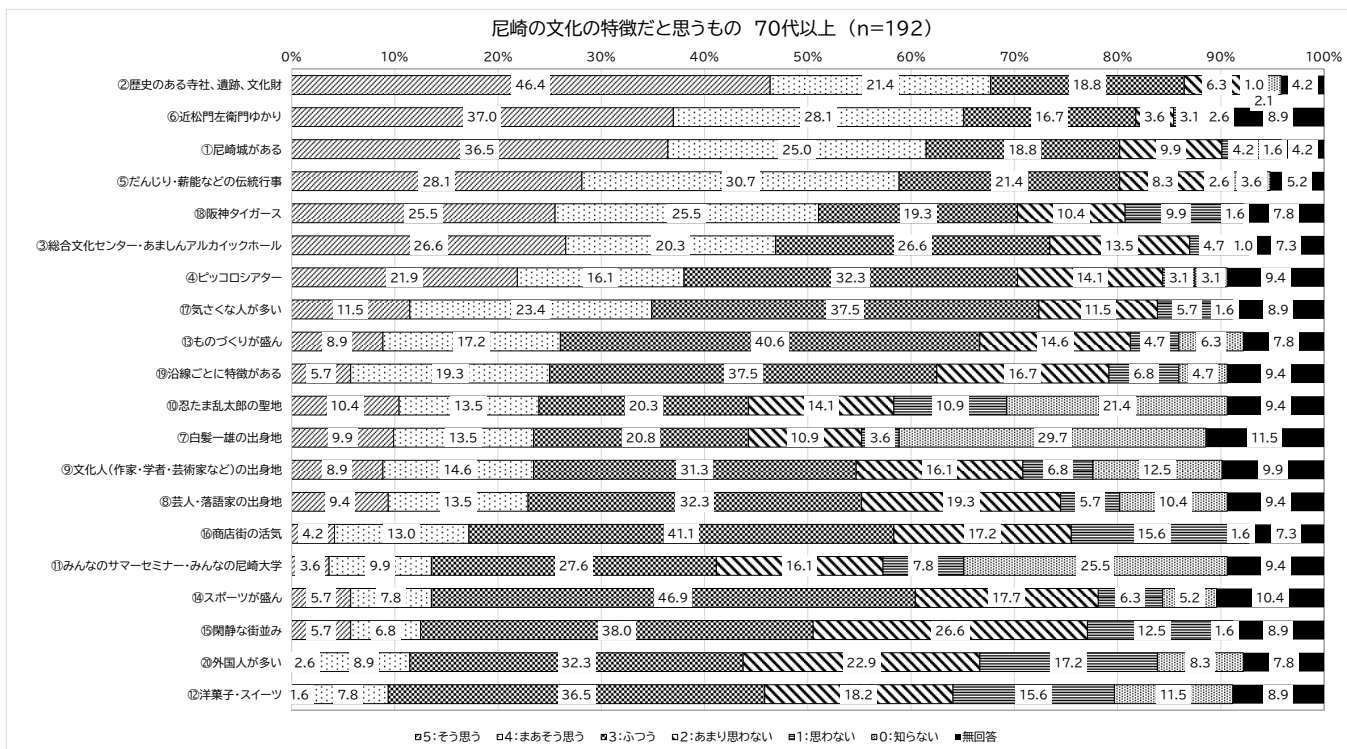
→50代以上で4～5位。40代で7位、30代で10位、10～20代で7位。

	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1位	①尼崎城がある	⑱阪神タイガース	⑥近松門左衛門ゆかり	⑥近松門左衛門ゆかり	②歴史のある寺社、遺跡、文化財	②歴史のある寺社、遺跡、文化財
2位	⑱阪神タイガース	①尼崎城がある	②歴史のある寺社、遺跡、文化財	②歴史のある寺社、遺跡、文化財	⑥近松門左衛門ゆかり	⑥近松門左衛門ゆかり
3位	⑩忍たま乱太郎の聖地	⑩忍たま乱太郎の聖地	①尼崎城がある	①尼崎城がある	①尼崎城がある	①尼崎城がある
4位	②歴史のある寺社、遺跡、文化財	⑱沿線ごとに特徴がある	⑱阪神タイガース	⑤だんじり・薪能などの伝統行事	⑱阪神タイガース	⑤だんじり・薪能などの伝統行事
5位	⑱沿線ごとに特徴がある	②歴史のある寺社、遺跡、文化財	⑩忍たま乱太郎の聖地	⑱阪神タイガース	⑤だんじり・薪能などの伝統行事	⑱阪神タイガース









(3) 自慢したい尼崎の文化の特徴

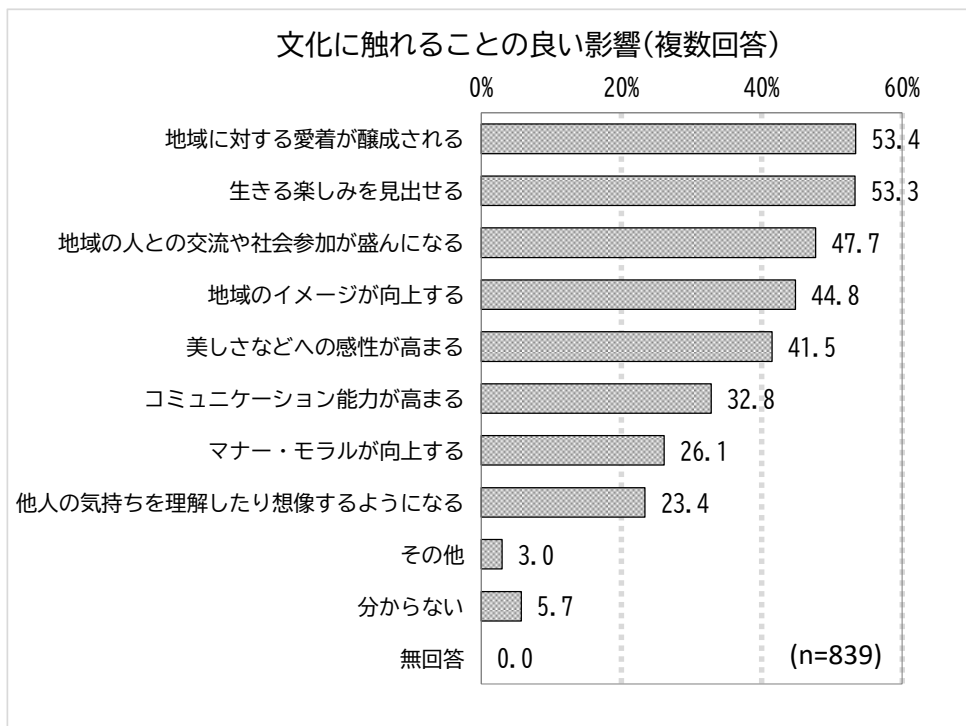
※前問で挙げたもの以外に、自慢したい尼崎らしい文化の特徴(モノ・コト・ヒト・場所など)

キーワードで分類して5件以上のもの

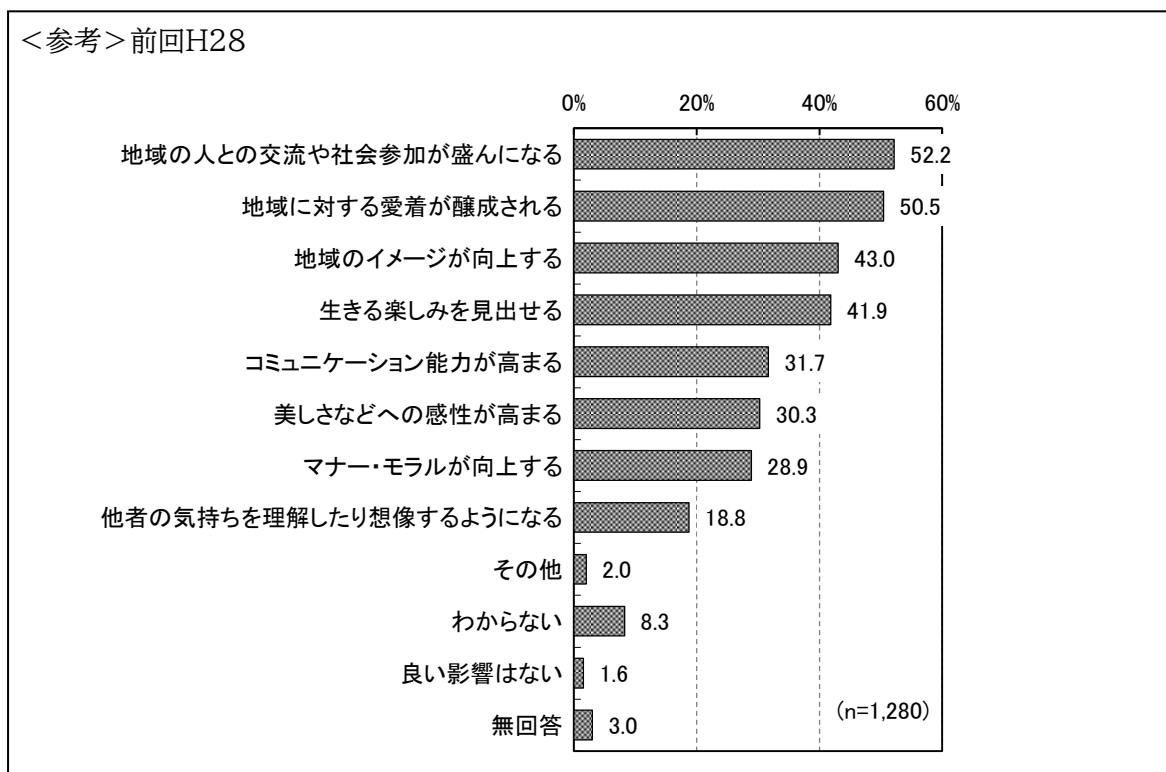
キーワード	件数
商店街	18
ダウンタウン	16
交通の利便性	14
住みやすい	12
尼崎城	12
公園	8
寺町	8
人	8
物価が安い	7
遺跡	5
JR尼崎駅	5
自然	5
近松門左衛門	5

(4) 文化に触れることの良い影響

- 前回と比較して「生きる楽しみを見出せる」は 11.4 ポイント、「美しさなどへの感性が高まる」が 11.2 ポイント増加。
- 前回最も回答の多かった「地域の人との交流や社会参加が盛んになる」が3番目となり 4.5 ポイント減少。

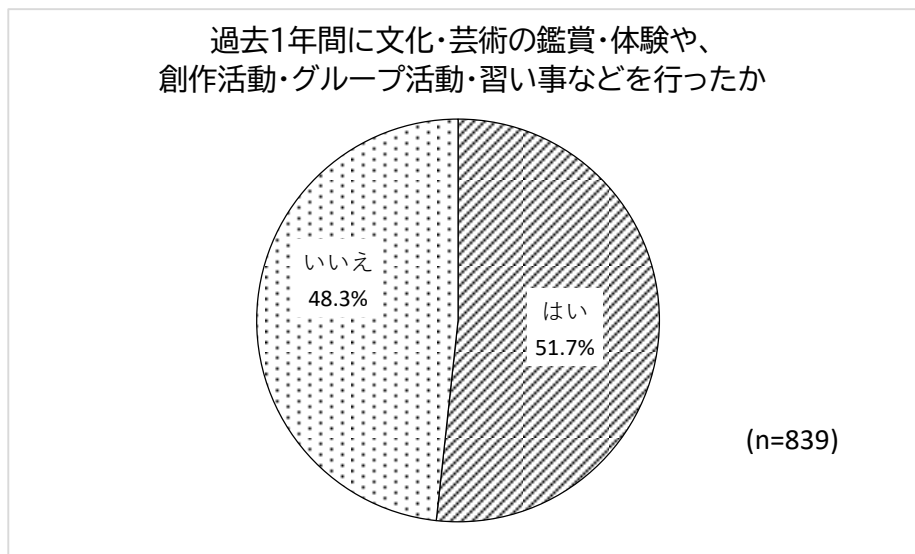


<参考> 前回H28



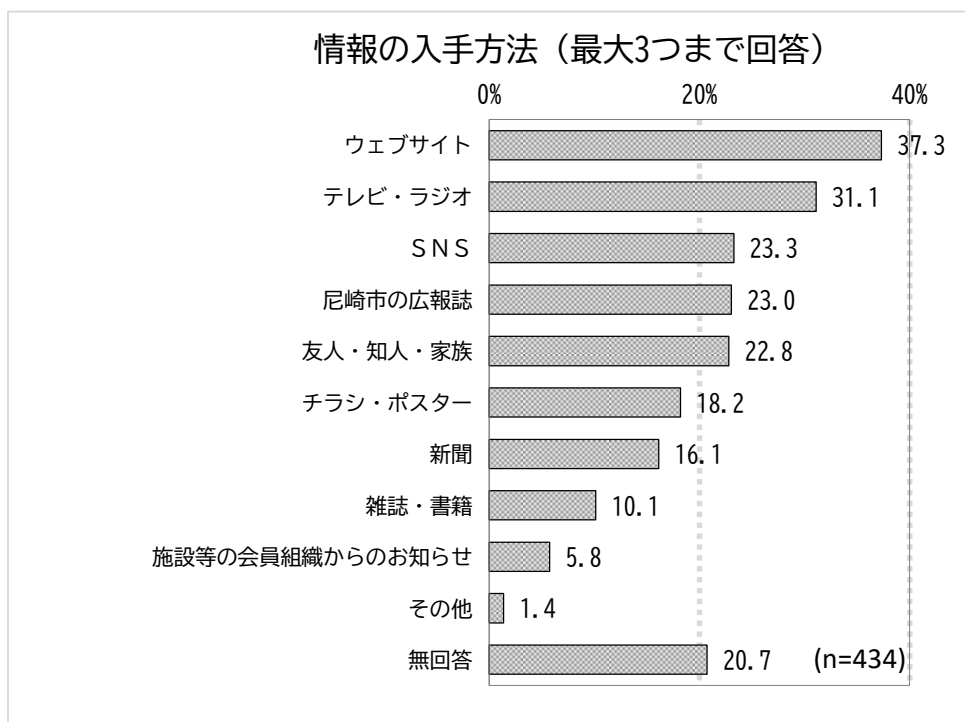
4 文化・芸術体験や活動状況

- (1) 過去1年間の文化・芸術の鑑賞・体験、創作活動・グループ活動・習い事の有無
○「はい」が過半数。



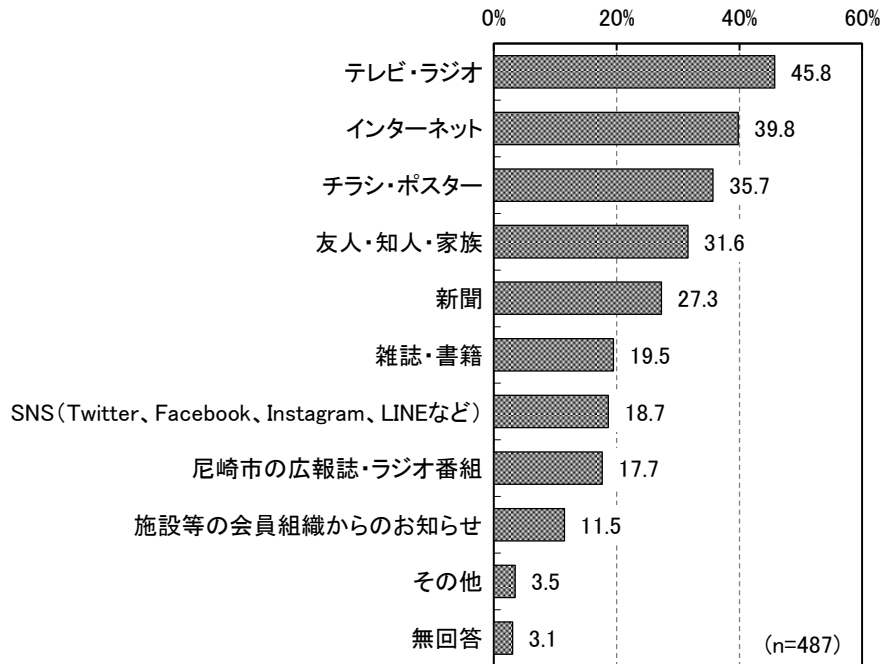
- (2) 文化・芸術に関する情報の入手方法

- 前回と比較して「チラシ・ポスター」が17.5ポイント減少、「テレビ・ラジオ」が14.7ポイント減少、「新聞」が11.2ポイント減少。
○順位が大きく変わっているものは、前回7番目の「SNS」が3番目に上昇、前回8番目の「尼崎市の広報誌」が4番目に上昇。前回3番目の「チラシ・ポスター」は6番目に下降。



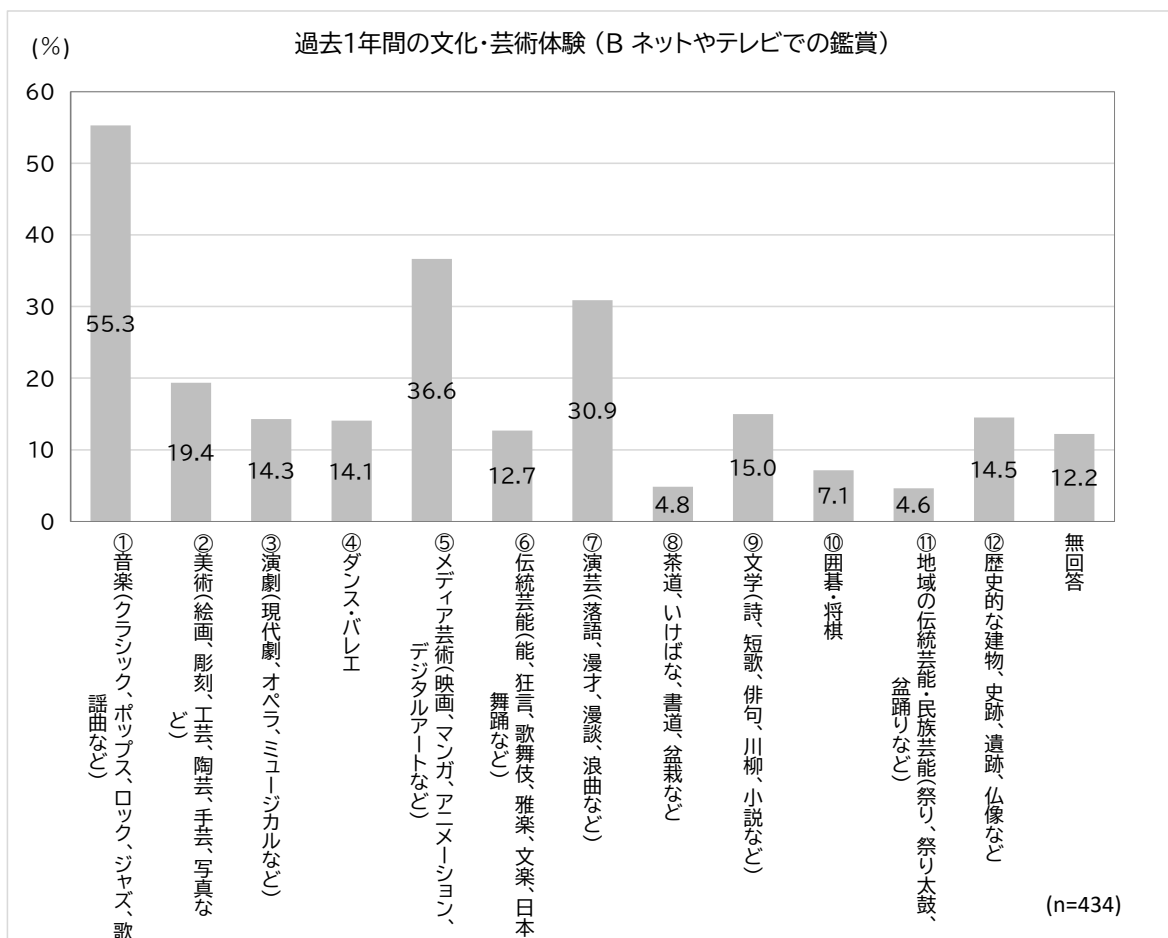
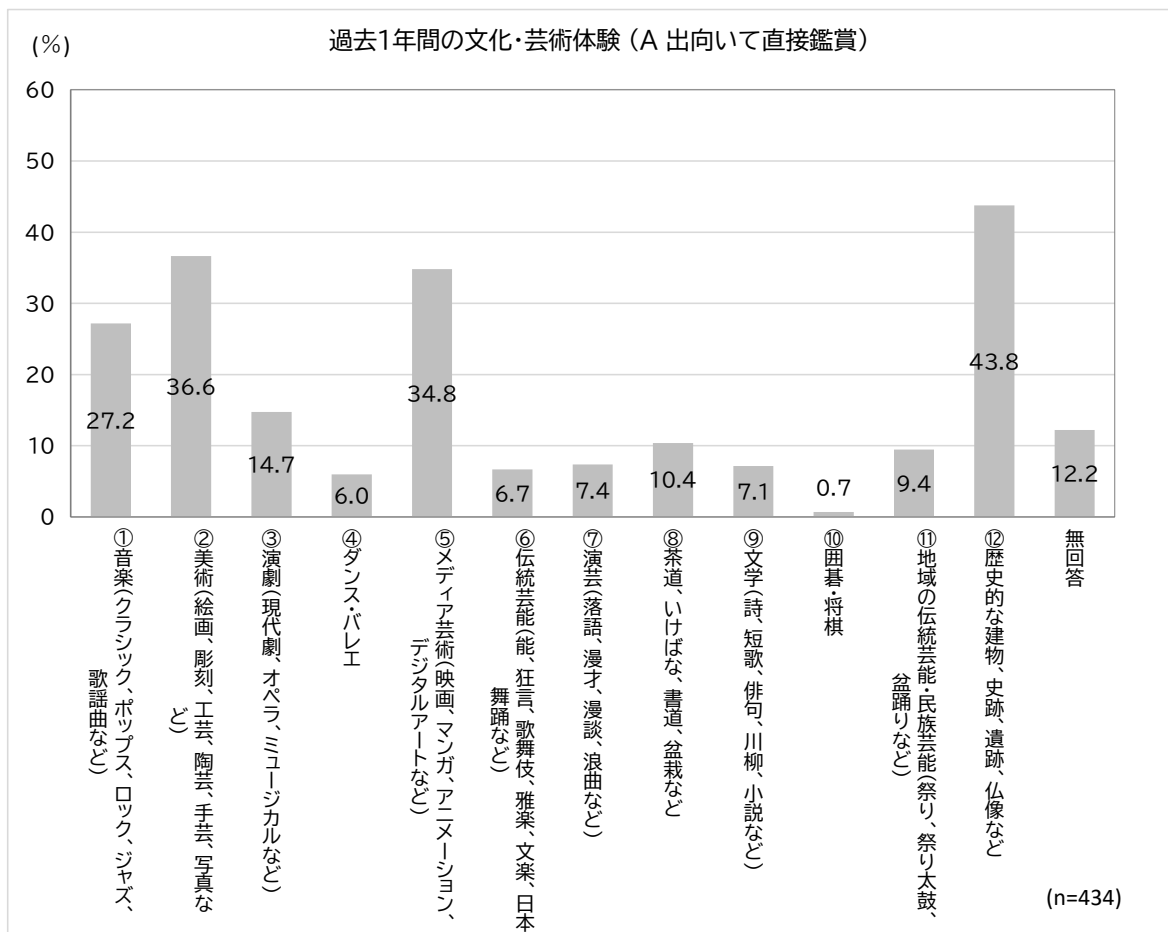
※SNSは Twitter、Facebook、Instagram、Line など

<参考> 前回H28



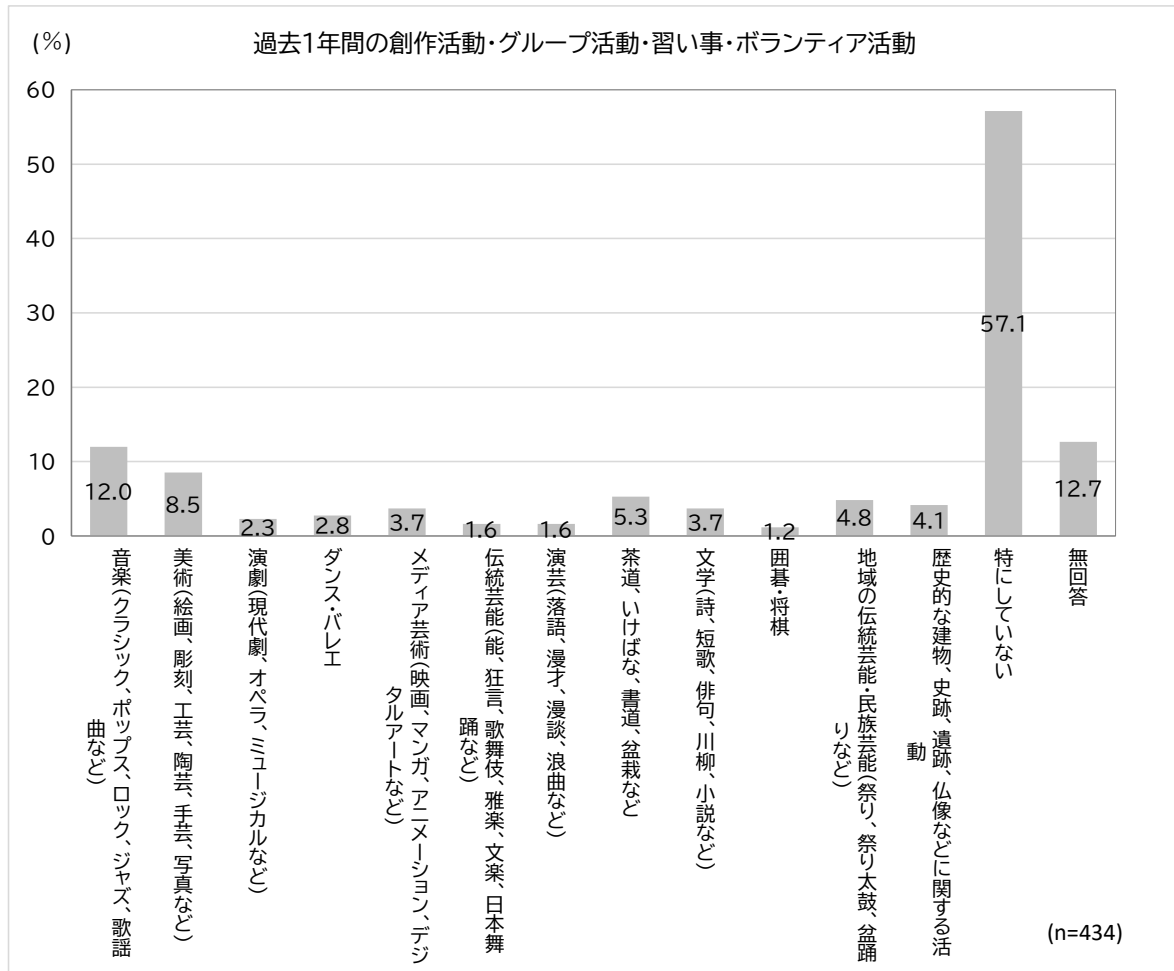
(3) 過去1年間の文化・芸術体験

- 出向いて直接鑑賞した体験では、「⑫歴史的な建物、史跡、遺跡、仏像など」、「②美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、手芸、写真など)」、「⑤メディア芸術(映画、マンガ、アニメーション、デジタルアートなど)」が多く、3割から4割。
- ネットやテレビでの鑑賞では、「①音楽(クラシック、ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲など)」が55%と最も多く、「⑤メディア芸術(映画、マンガ、アニメーション、デジタルアートなど)」、「⑦演芸(落語、漫才、講談、浪曲など)」が3割台。



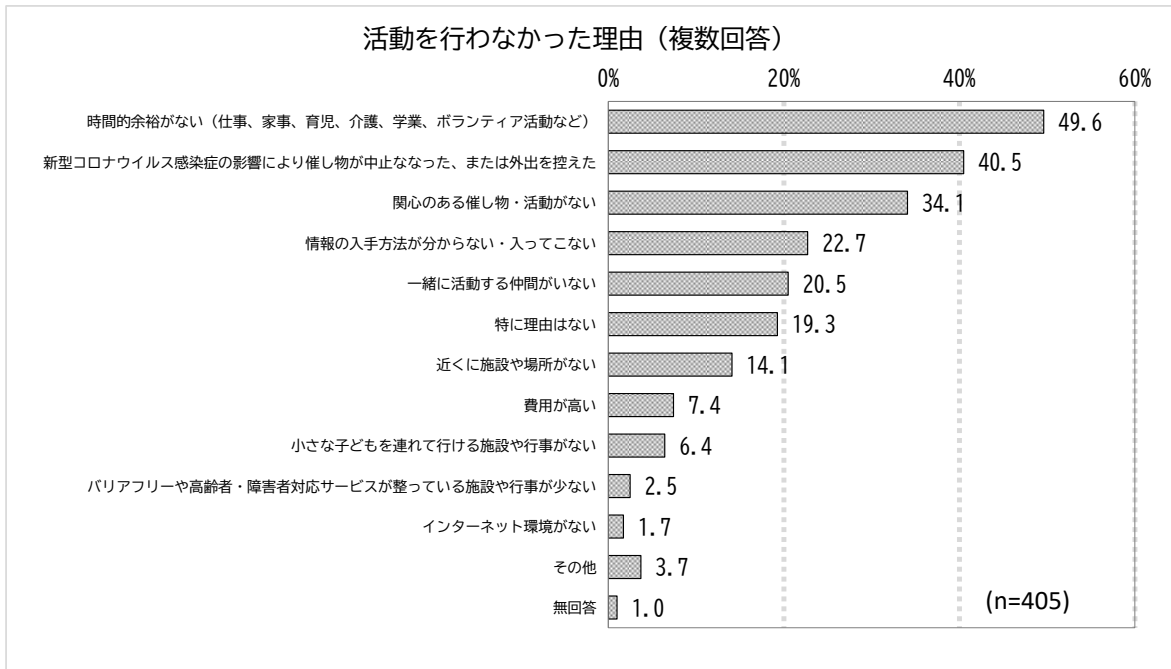
(4) 過去1年間の創作活動・グループ活動・習い事・ボランティア活動

○「特にしていない」、無回答を合わせて7割。「音楽(クラシック、ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲など)」、「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、手芸、写真など)」が1割。

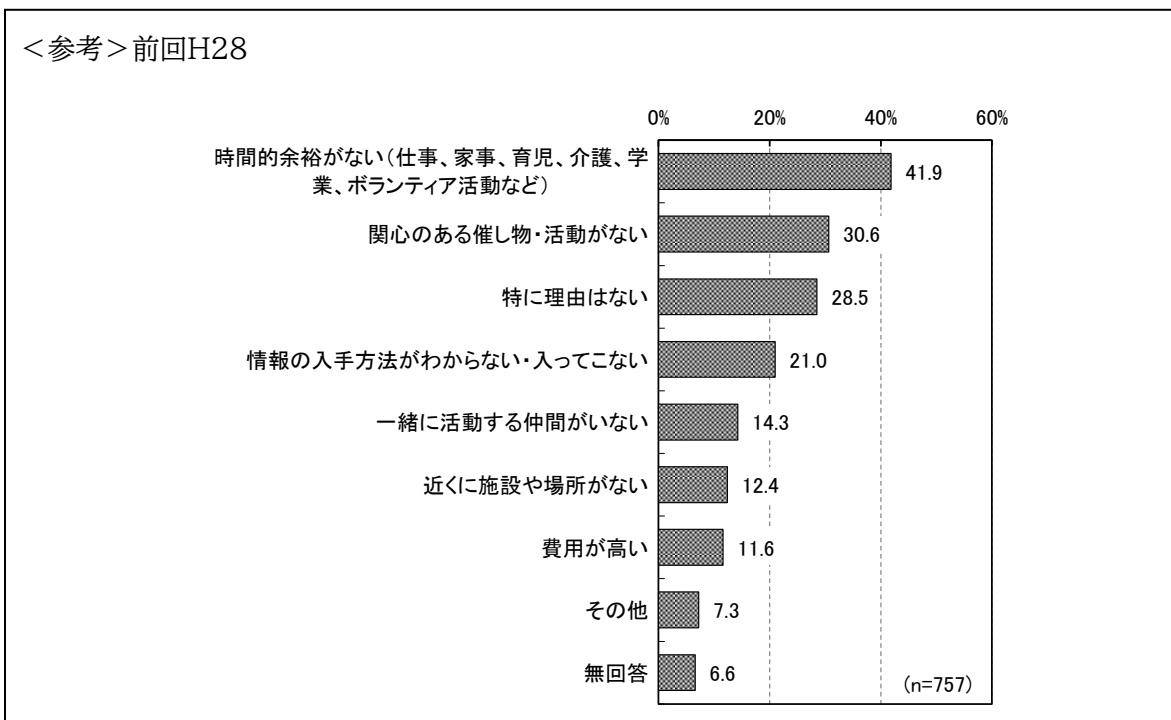


(5) 鑑賞・体験、活動しなかった理由

○前回同様、「時間的余裕がない」が最も多い。新型コロナウイルス感染症の影響との回答も4割。

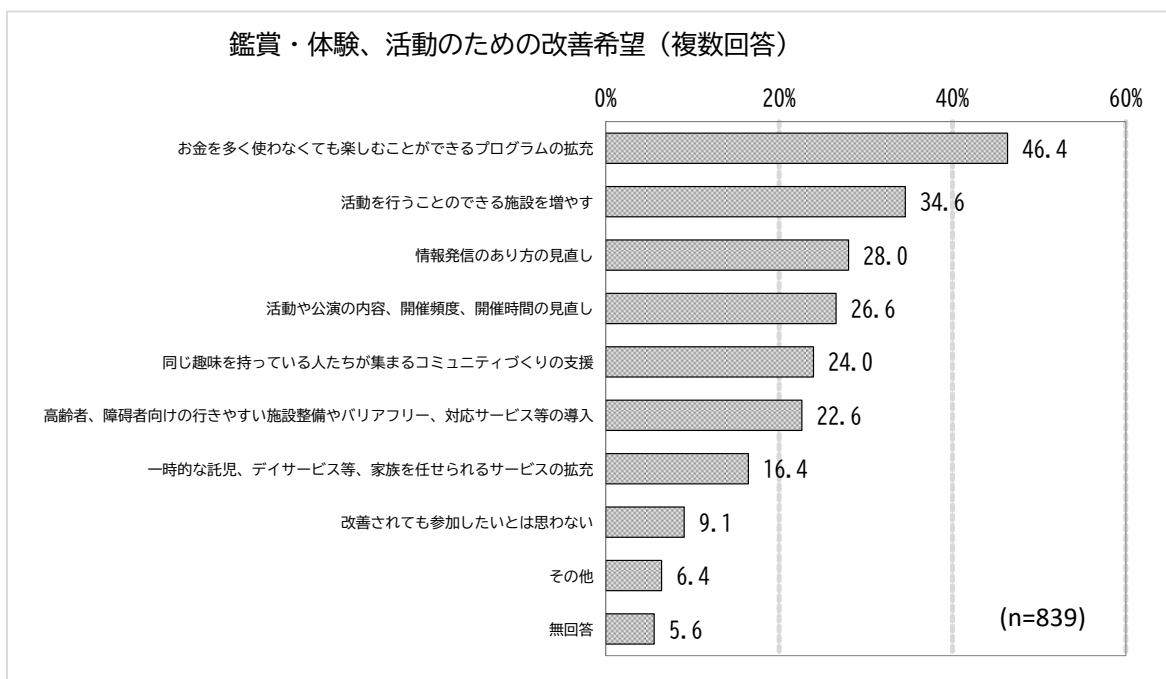


<参考> 前回H28

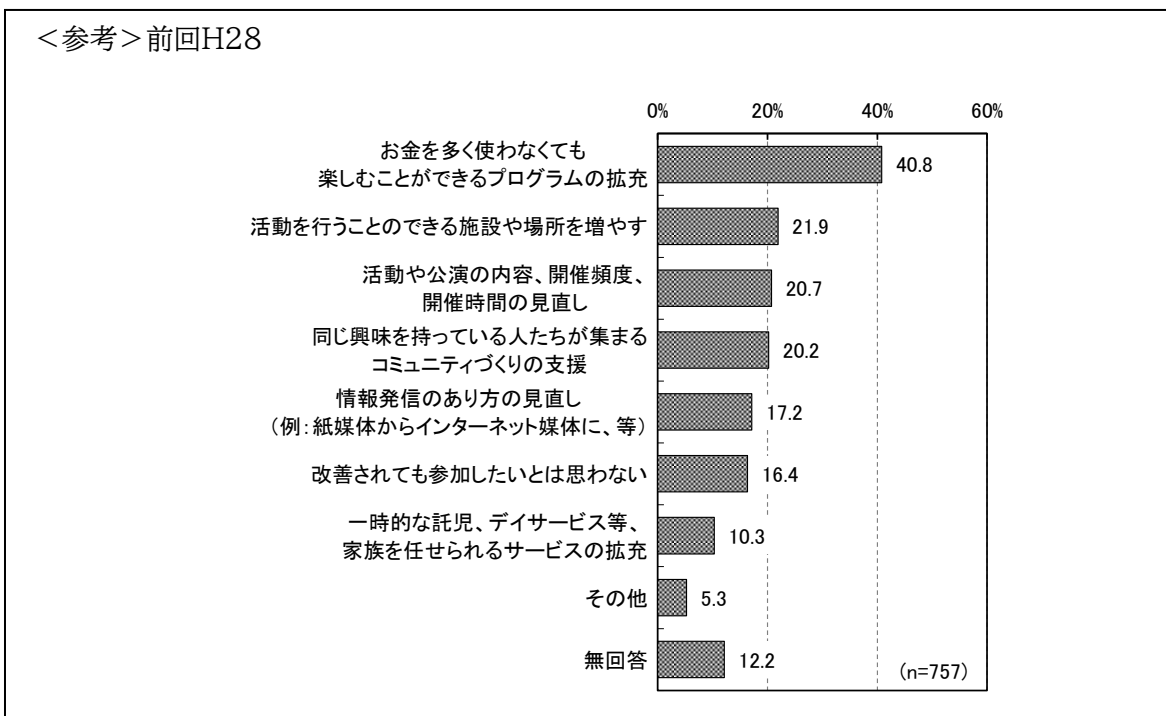


(6) 鑑賞・体験、活動のための改善希望

○前回同様、「お金を多く使わなくても楽しむことができるプログラムの拡充」が最も多い。「活動を行うことのできる施設を増やす」が12.7ポイント、「情報発信のあり方の見直し」が10.8ポイント増加。

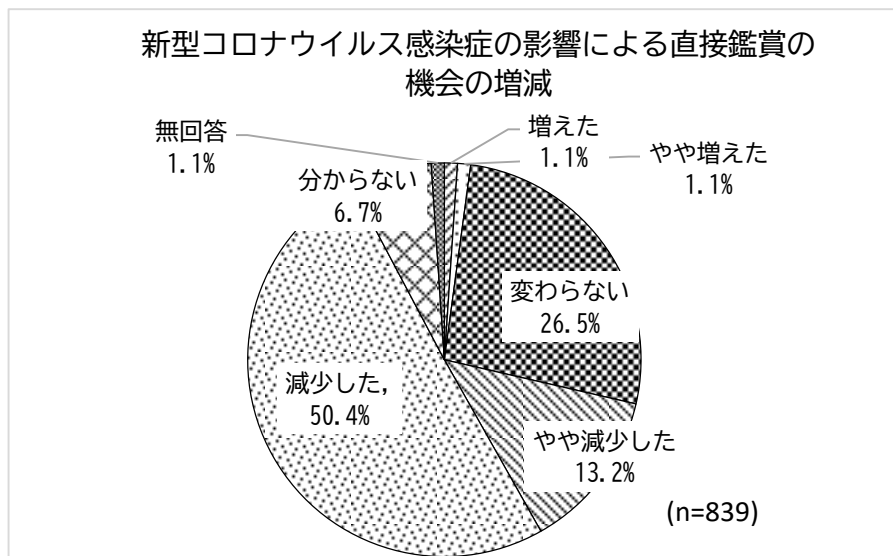


<参考> 前回H28



(7) 新型コロナウイルス感染症の影響による直接鑑賞の機会の増減

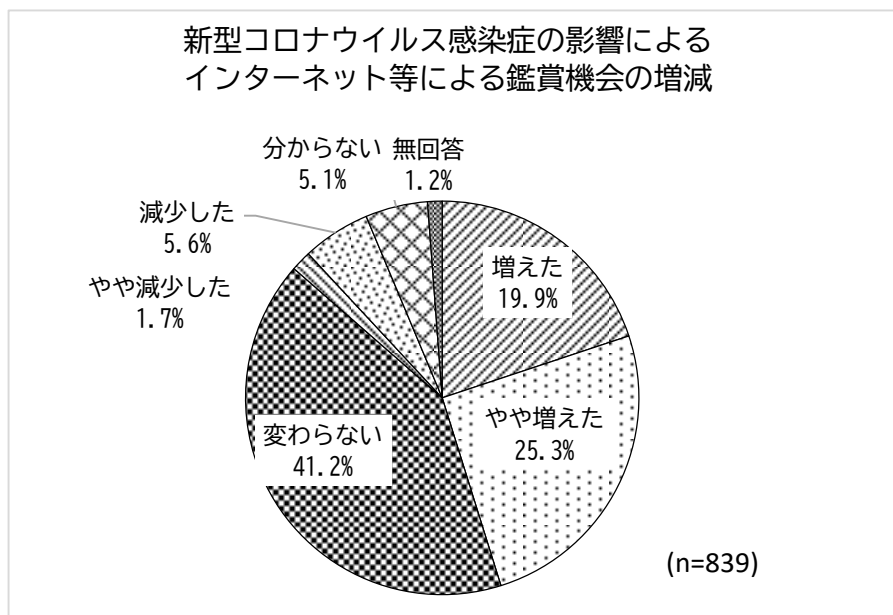
○「減少した」が約5割、「やや減少した」と合わせて約6割。「変わらない」は26.5%。



(8) 新型コロナウイルス感染症の影響によるインターネット等の鑑賞の機会の増減

○「変わらない」が約4割。「増えた」、「やや増えた」を合わせて45.2%。

※インターネット等 インターネット、テレビ、ラジオ、CD・DVDなど



(9) 新型コロナウイルス感染症の影響についてどう感じているか(自由記入)

- 「仕方がない」という端的な記入が目立った一方、自由に行動できなくなったことについての残念さなどの記入も多かった。
- インターネット等の鑑賞の機会が増えたと思われる方は、「鑑賞方法・内容の多様化」についてプラスの意見が見られた。
- コロナ禍で「直接鑑賞・体験の必要性」について改めて実感したという意見も見られた。

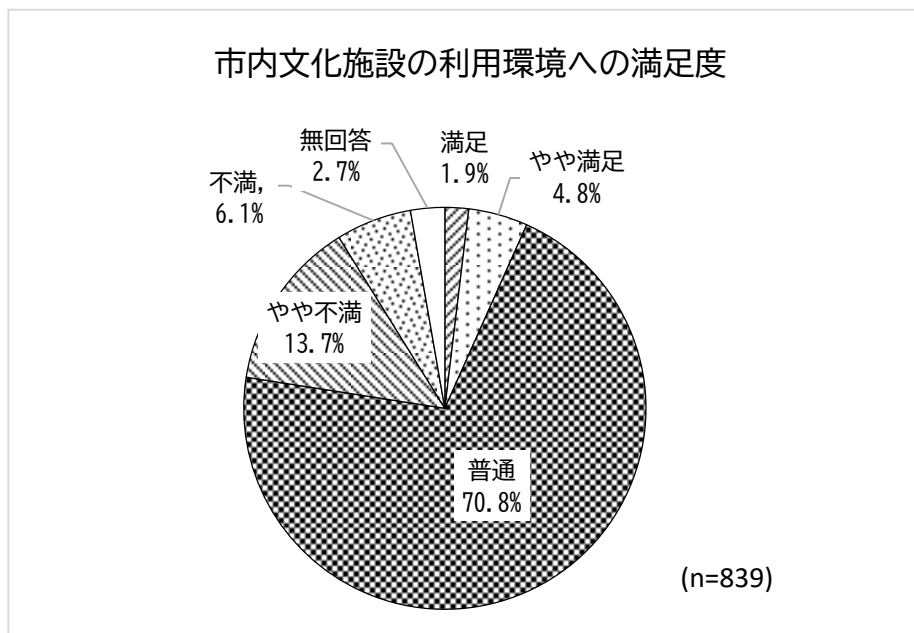
分類	件数	代表意見(一部抜粋)
仕方がない	39	・コロナ感染防止のため仕方がない。
不自由・我慢・残念	28	・自由に行動できなかったことが残念。 ・予約が必要などで自由に行けなくなった。不便になった。
外出自粛・人混み回避	26	・コロナ感染は困ると思ひ最低限の外出をしていた。
変化なし・感想なし	23	・特に変わらない。 ・元々機会がないのでわからない。
鑑賞方法・内容の多様化	22	・コロナ禍になりネット配信でのサービスコンテンツが増えた。テレビやネットで芸術にふれる機会は多くなったと感じている。 ・オンラインのおかげで触れてこなかった芸術にも触れられた。
直接鑑賞・体験の必要性	17	・直接、会場まで足をはこぶことで文化、芸術を感じる事が日常の中でどれだけ大切か？ということコロナ禍で実感した。
終息して欲しい	14	・早く平常の生活に戻りたい。
機会を増やしたい	13	・コロナで2年間、外出を控えていたので、これからは行動したい。
自宅鑑賞の良さ	9	・現地に向くのがむずかしい場合も楽しめる選択肢は今後もあってほしい。
意欲低下・ストレス増	8	・外出する時間が減り、ストレスが増えた。 ・感動感激が減り坦々とした日々になった。
交流の減少	7	・友達との交流等もかなり減り心身ともにダメージがあったと感じています。 ・他人と距離を置くという事を意識づけしてしまったような気がします。これから少しずつでも戻していけたらいいなと思います。
文化・芸術関係者の支援等	6	・文化・芸術的活動をしている人、手伝っている人への支援拡充が必要。(場所、人、金など。)
感染対策を緩和して欲しい	5	・出かけるにしても、推奨という名の「マスク着用の強制」が不快なので、鑑賞、体験、活動そのものが億劫です。
感染対策・主催者の工夫	5	・しっかりと感染対策がなされていれば、抵抗はない。
公演中止	4	・公演中止がづらい。公演日まで気を抜けない。
子どもへの影響	4	・新型コロナウイルス感染症の影響を一番受けているのは特に子ども達では無いか、子ども達の今後の将来が特に心配。
時間の余裕	4	・家で過ごす時間が増えた。
直接・間接のいずれも良い	4	・ライブの良さ、機器を通しての良さを両方理解でき、鑑賞するものによって選ぶ又は両方で別の楽しみ方をするようになった。
その他	77	-
(特になし)	14	-

※記入あり 329 件

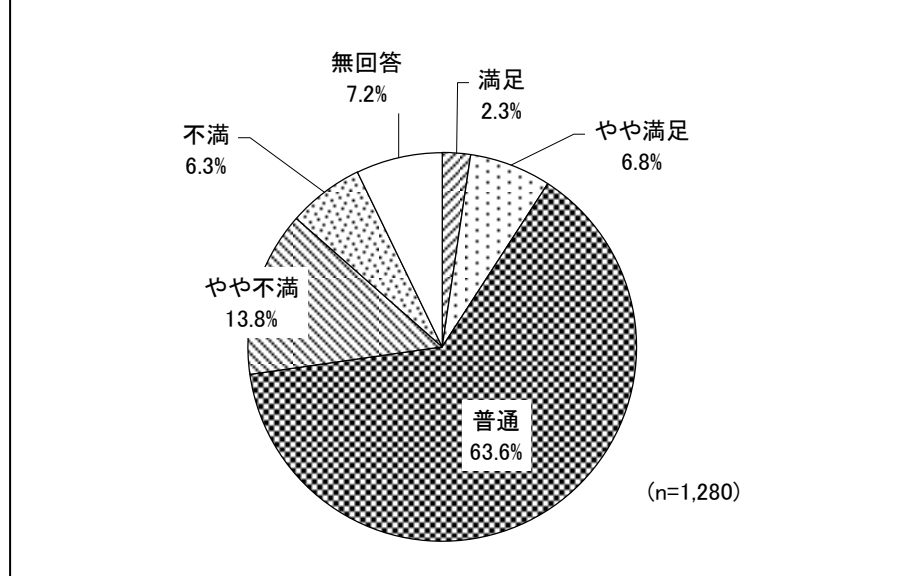
5 尼崎市の文化振興

(1) 市内文化施設の利用環境への満足度

○前回同様「普通」が最も多く約7割。



<参考> 前回H28

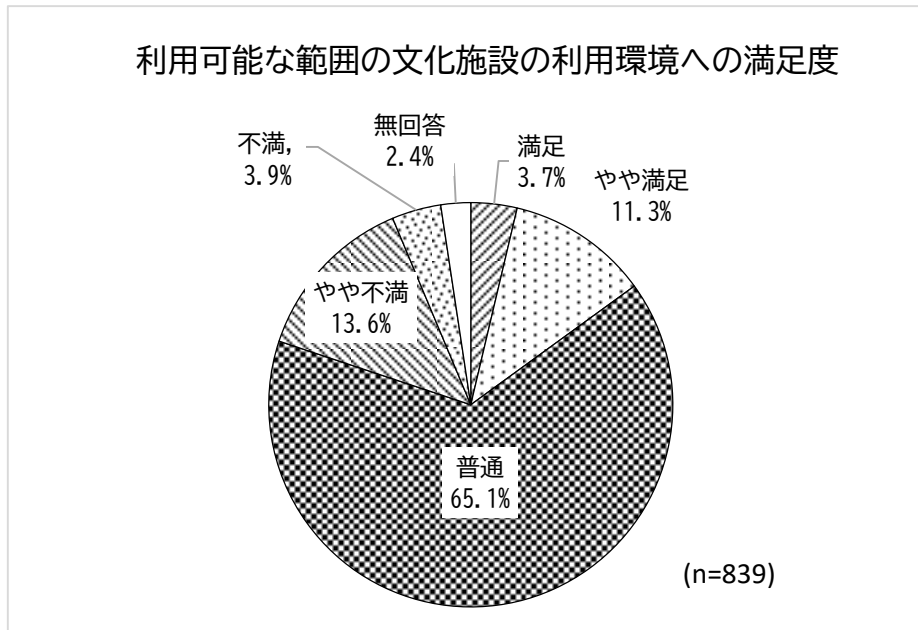


(2) 利用可能な範囲の文化施設の利用環境への満足度

○前回同様「普通」が最も多く65.1%。

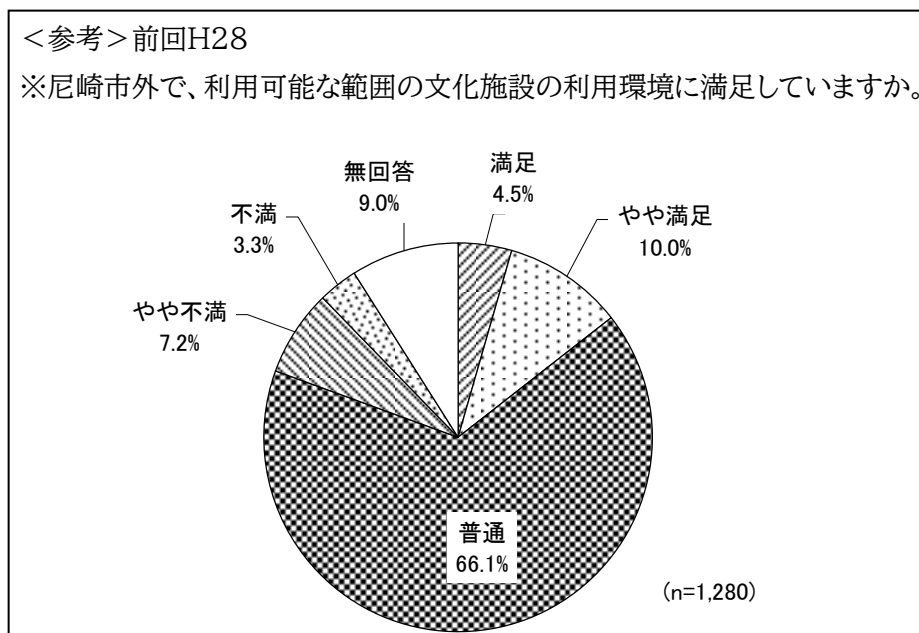
○「満足」、「やや満足」を合わせて15.0%となっており、市内施設の場合よりも5.7ポイント高い。

※市外も含めると、利用可能な範囲の文化施設の利用環境に満足していますか。



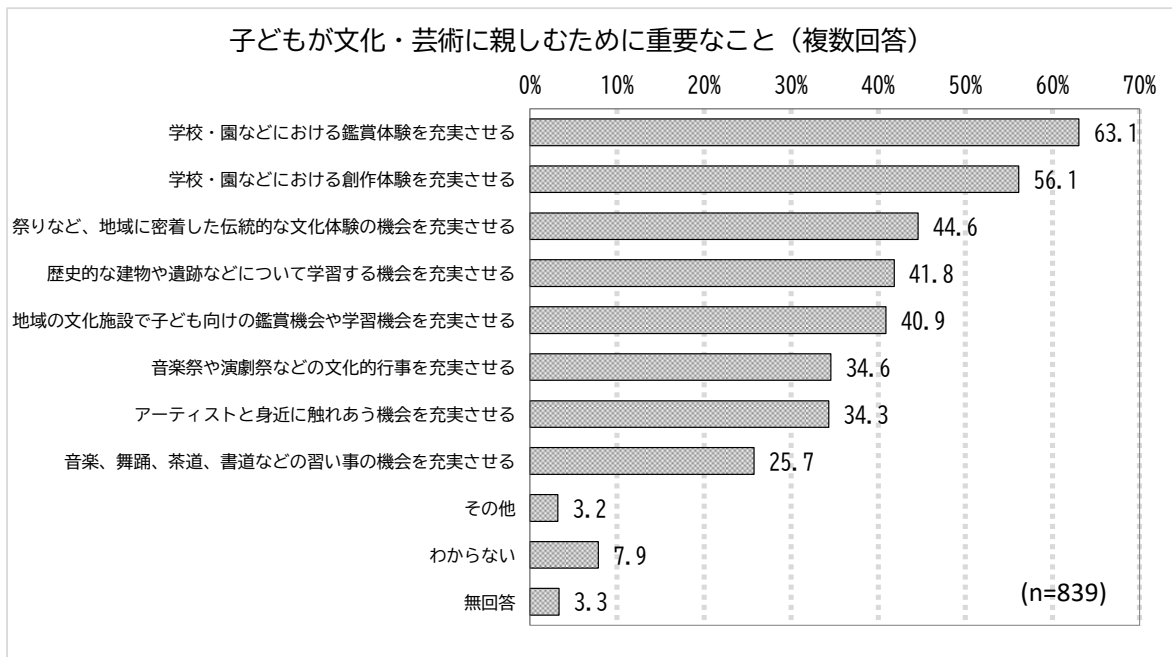
<参考> 前回H28

※尼崎市外で、利用可能な範囲の文化施設の利用環境に満足していますか。

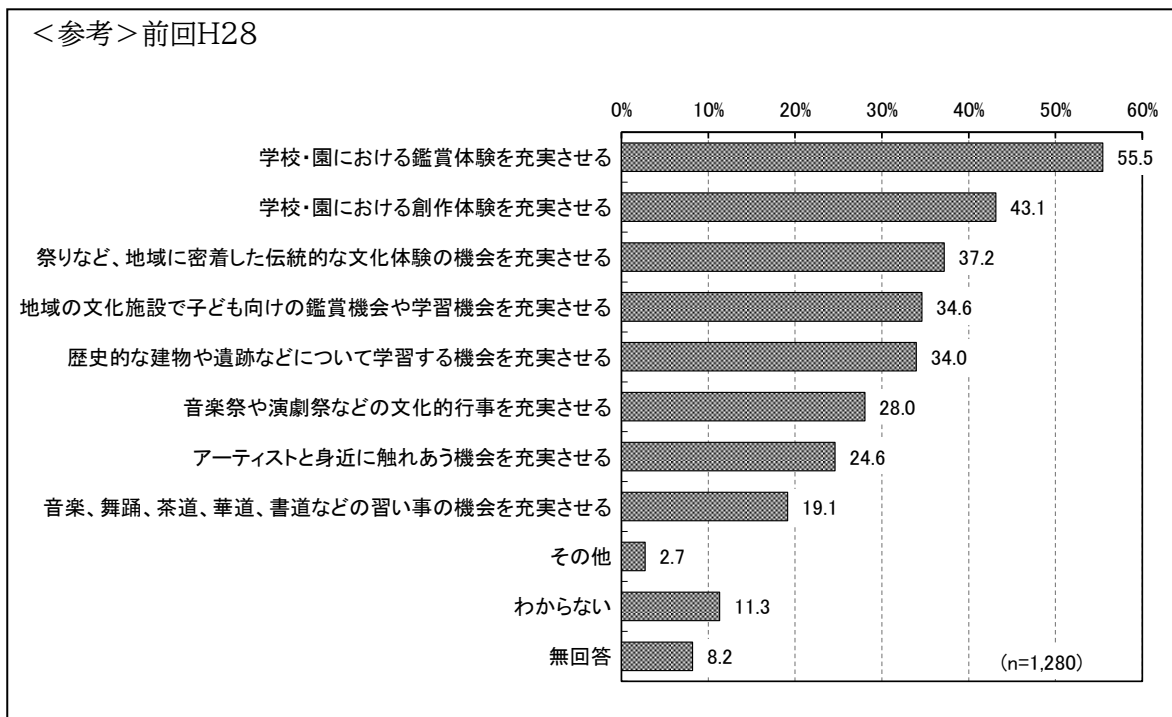


(3) 子どもが文化・芸術に親しむために重要なこと

○概ね前回同様となっている。多くの選択肢に回答がなされている。



<参考> 前回H28

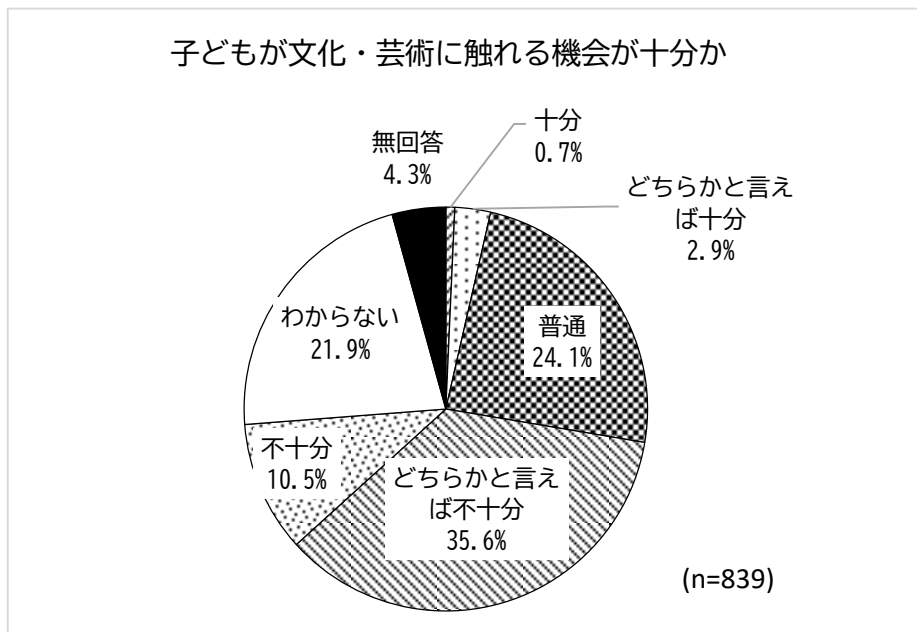


(4) 子どもが文化・芸術に触れる機会が十分か

○「どちらかと言えば不十分」が最も多く、「不十分」と合わせて46.1%。

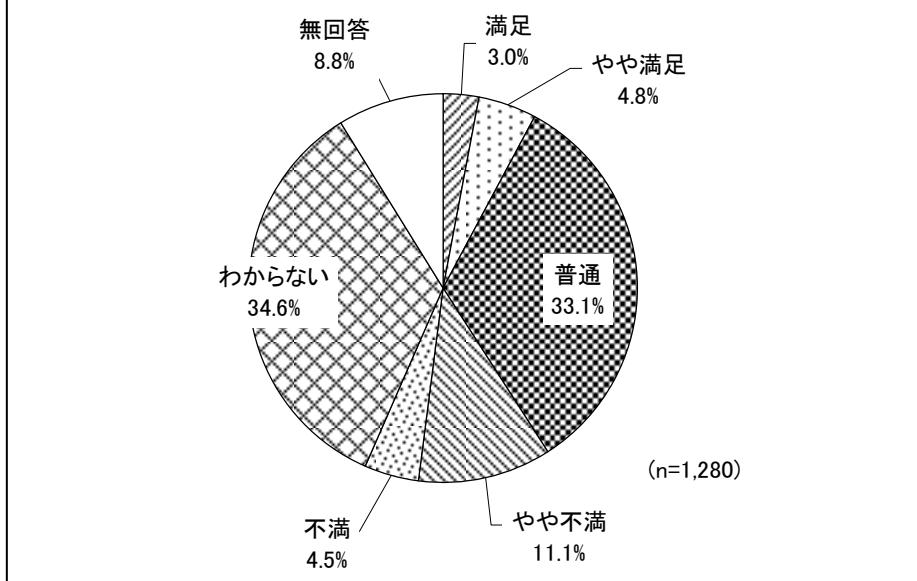
○「十分」、「どちらかと言えば十分」を合わせてわずか3.6%。

※子どもが文化・芸術に触れる機会が十分だと思いますか。



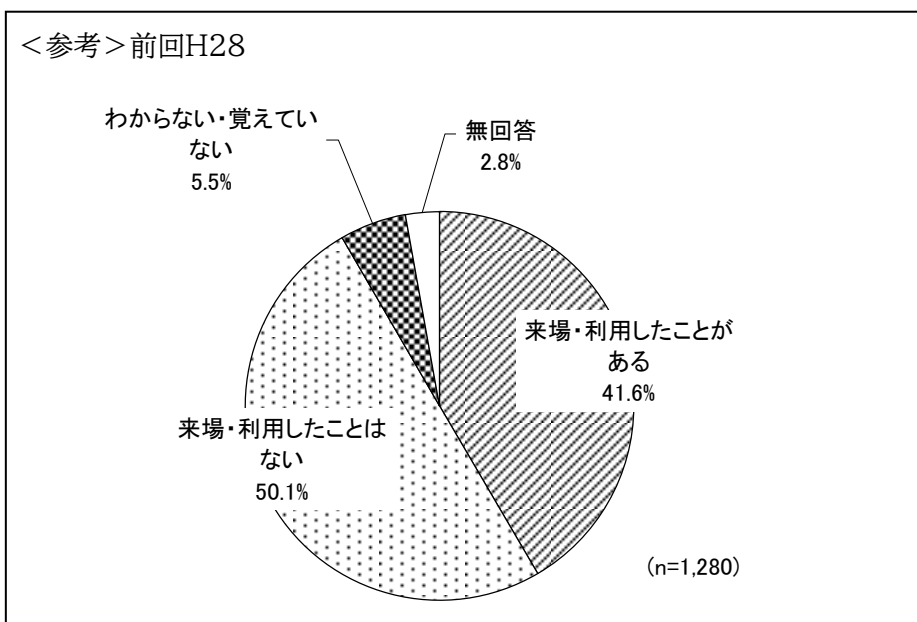
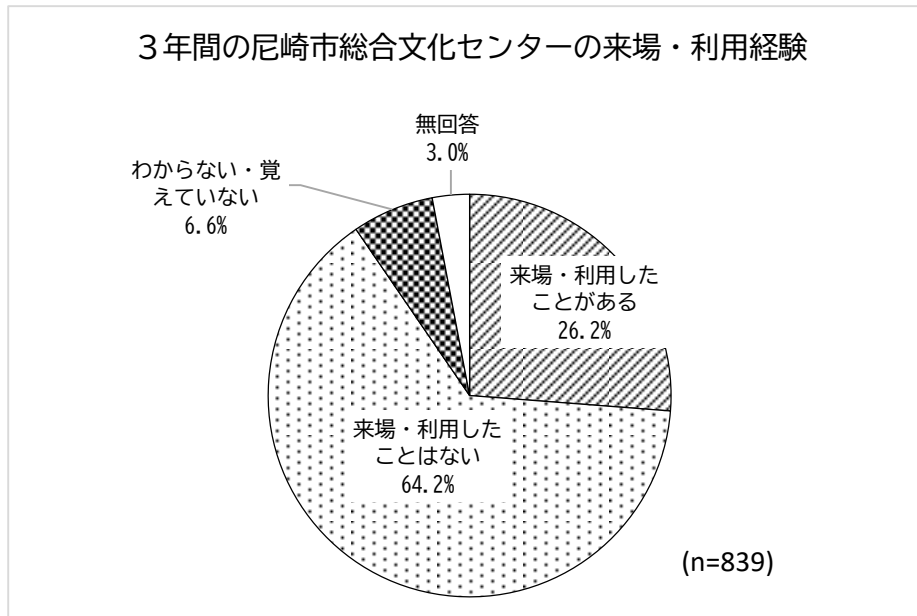
<参考> 前回H28

※子どもが文化・芸術に触れる機会に満足されていますか。



(5) 3年間の尼崎市総合文化センターの来場・利用経験

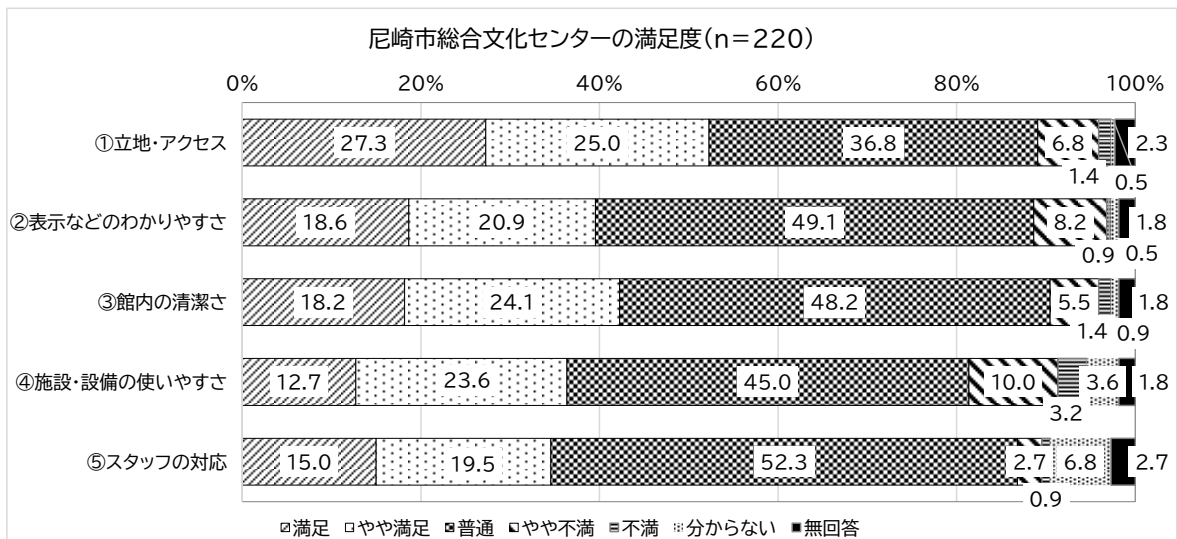
○「来場・利用したことがある」が前回よりも15.4ポイント減少、「来場・利用したことはない」が前回よりも14.1ポイント増加。



(6) 尼崎市総合文化センターの満足度

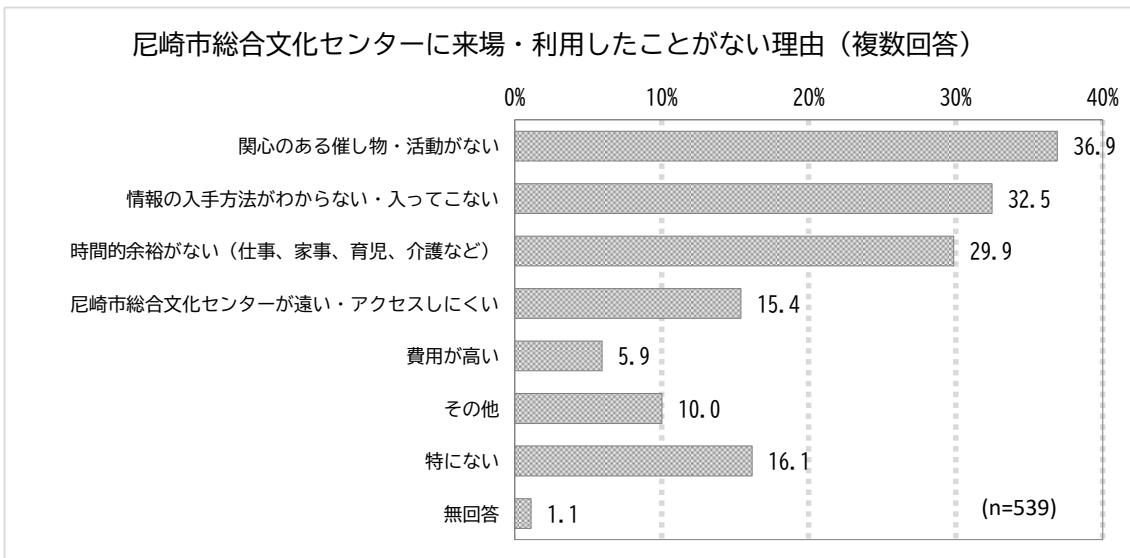
○いずれの選択肢も「普通」が最も多い。

○「①立地・アクセス」は「満足」、「やや満足」を合わせて約5割。

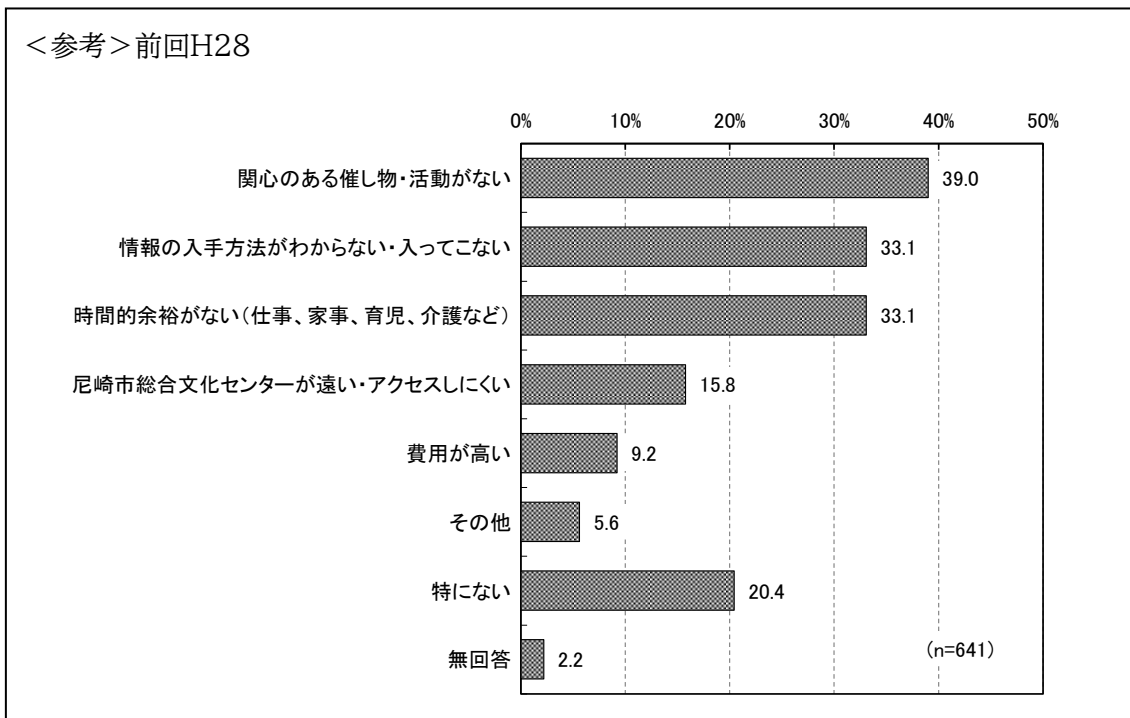


(7) 尼崎市総合文化センターに来場・利用したことがない理由

○概ね前回同様となっている。

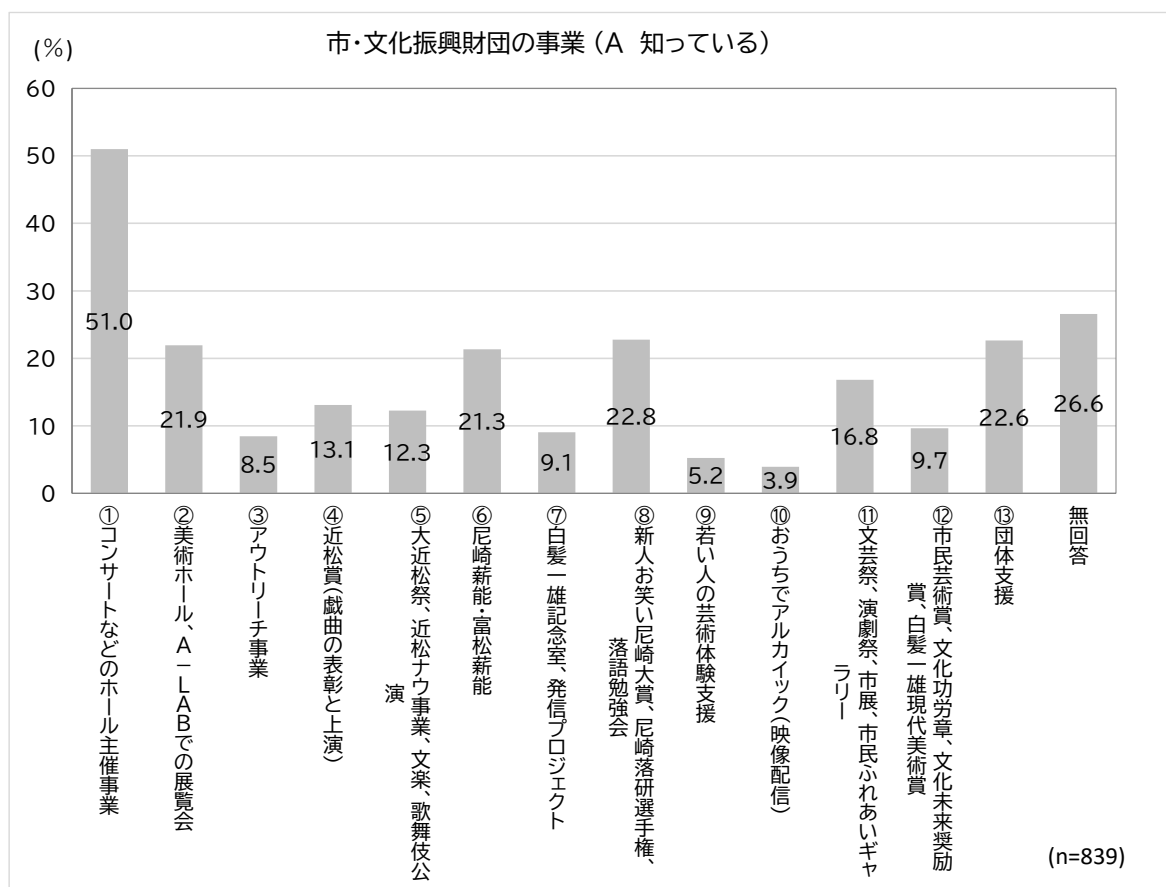


<参考> 前回H28



(8) 市・文化振興財団の事業の認知度

○「①コンサートなどのホール主催事業」のみ5割を超えている。「⑧新人お笑い尼崎大賞、尼崎落研選手権、落語勉強会」、「⑬団体支援」、「⑥尼崎薪能・富松薪能」、「②美術ホール、A-LABでの展覧会」が2割を超えている。



③アウトリーチ事業(学校等への音楽・美術の出張講座)

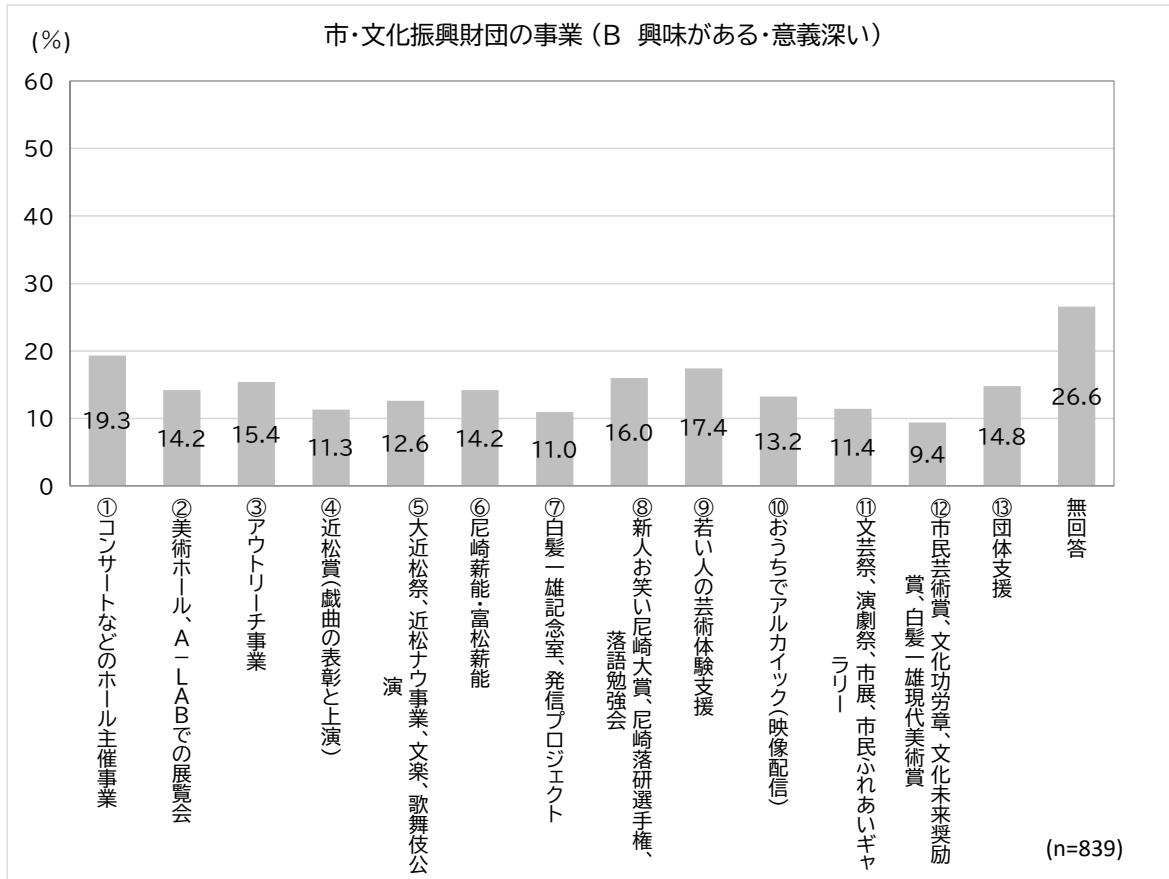
⑨若い人の芸術体験支援(ティーンズサポートチケット、公開レッスン&コンサート)

⑬団体支援(吹奏楽団、合唱団、吹奏楽連盟、合唱連盟、芸術文化協会、文化団体協議会)

(9) 市・文化振興財団の事業の興味・意義

○いずれの事業も2割を下回っている。

○前問で特に認知度が低かった「⑩おうちでアルカイク(映像配信)」は 13.2%(認知度は 3.9%)、「⑨若い人の芸術体験支援」は 17.4%(認知度は 5.2%)が興味・意義を感じている。



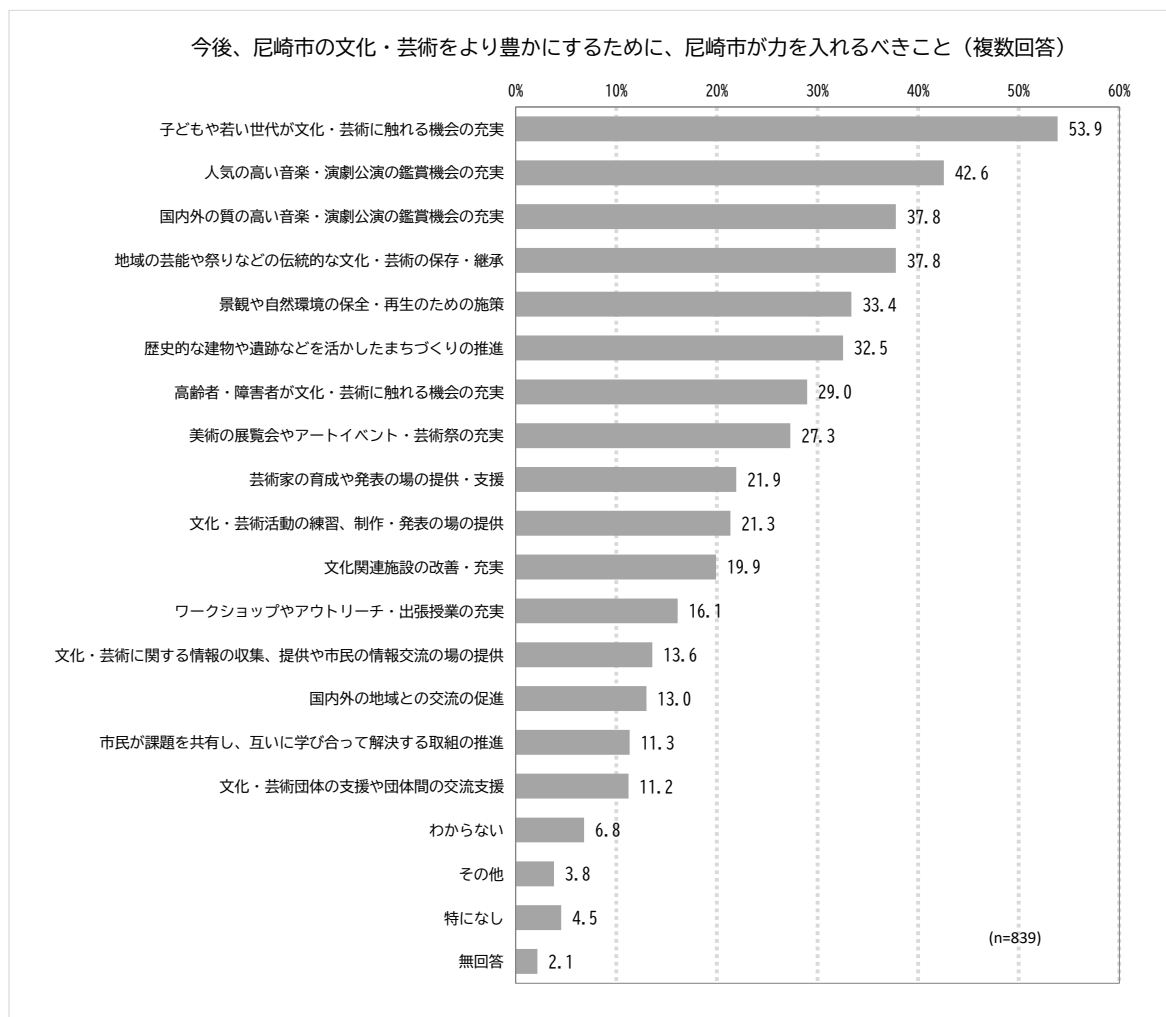
③アウトリーチ事業(学校等への音楽・美術の出張講座)

⑨若い人の芸術体験支援(ティーンズサポートチケット、公開レッスン&コンサート)

⑬団体支援(吹奏楽団、合唱団、吹奏楽連盟、合唱連盟、芸術文化協会、文化団体協議会)

(10) 今後、尼崎市が力を入れるべきこと

○「子どもや若い世代が文化・芸術に触れる機会の充実」が5割を超えている。音楽・演劇公演、地域の芸能や祭りについても約4割。



6 自由記述

※記入有 233 件 代表的な意見を抜粋

○文化・芸術全般(44 件)

- ・尼崎市の文化や芸術について、あまり知らないことに気づきました。今後もっと知ってほしいなと思いました。
- ・このようなアンケートを作成し調査する姿勢は評価できると思います。今後も文化事業に力を入れ子供達が感性豊かになるよう頑張ってください。
- ・幼少から親が積極的に文化や芸術に触れさせない限り、興味を持つことはあまり無く、興味を持たなければ情報も入ってこないと思います。
- ・押し付けがましい一方的な「これは“文化”である」発信の主張が見えてどうかと思う。「官」が指導して道を作るのは形にはめた物でなく、さりげない支えだけで十分だと思う。生活・日常あつての文化だから。

○文化・芸術体験や活動(37 件)

- ・尼崎市の独自の文化、これからの芸術をささえる若手の方にチャンスや発表の場が多くあればいいな。
- ・若年層においては何がきっかけで文化・芸術に興味を持つかは個人により異なると思います。年一回あるかないかの機会より、日頃身近な所でやっていることの方が接触機会も多く、興味を寄せるきっかけになりやすいのではないかと思います。
- ・地域の結びつきをもっと強くするためにも文化的な交流の機会をもっとあった方がよい。マンションが多くなると地域から離れた存在に(独立した存在)になってしまう。みんなが参加できる何か欲しいですね。

○情報発信(17 件)

- ・尼崎市に引っ越してきてから、3年以上たちますが、尼崎市の文化に触れたことはほとんどないと本アンケートで、改めて気づきました。案内や宣伝が少ない？ため、よく知らないような気もします。
- ・年配の方でも情報収集しやすい環境づくりをお願いしたいです。
- ・市のイベントの情報が届きづらく、参加する機会がありません。隣市の伊丹市のイベントの情報は特にアンテナを伸ばさなくても入ってくるので不思議です。駅や人の集まる場所にフライヤーや広告を置いてくれると、少しは違うのかなと思います。

○イベント等の具体案(13 件)

省略

○尼崎の文化(10 件)

- ・尼崎市には、ダウントウンや桂米朝などの笑いの文化、尼崎城や田能遺跡などの歴史文化、尼崎中央商店街の阪神タイガースなど、たくさんの日本でも有名な文化があると思います。子どもたち

若い世代にもこの文化が引き続き継承し、発展したらいいなと思います。

○総合文化センター等(8件)

・そもそも遠いので触れる機会がない、駅前に施設があるのに活用できないのが残念。

○市政関連(全般等 45 件、図書館関連5件、観光関連5件、歴史・文化材関連4件)

・文化・芸術を豊かに…という以前にまず安心・安全で清潔なくらしやすい住みやすい町づくりの為に力を入れてもらいたい。

・文化・芸術も大切だと思うが、市役所に行って天井から雨もりして、バケツでためていたり壁にヒビが入っていたり大丈夫なのかと思う。子供やお年寄りにも利用しやすいように、することが先なのかなあとと思います。文化・芸術は環境をよくしないと豊かにはなりません。

・近年地方でユニークな図書館ができています。尼崎市にも従来の図書館とは違う、人々が集まれる場所としての図書館を研究してほしいと思います。特に尼崎市北部には利用しやすい図書館がなく、伊丹市に行っている人もいます。

○アンケート(34 件)

・市として文化・芸術向上への施策をここまで努力されていることを知らなかった。市の広報やSNSを活用してアピールすれば良いと思います。アンケート調査の趣旨を理解し、応援したいと思います。

・もっと、時間の余裕ある人に聞いたほうが！

○その他(11 件)

省略